

令和6年度 奥州市学校支援地域本部事業 成果報告書



奥州市教育委員会
奥州市学校支援地域本部実行委員会

目 次

1	はじめに	2
2	奥州市学校支援地域本部事業の構成	5
3	成果報告	
	(1) 水沢中学校支援地域本部	11
	(2) 東水沢中学校支援地域本部	13
	(3) 水沢南中学校支援地域本部	15
	(4) 江刺第一中学校支援地域本部	18
	(5) 学校支援前沢地域本部	23
	(6) 胆沢中学校支援地域本部	25
	(7) 衣川中学校支援地域本部	28
4	研修活動、広報活動報告	
	(1) 研修活動	33
	(2) 広報活動	35
5	資料	
	●学校支援地域本部事業に関する調査	
	【対象：学校支援ボランティア】集計結果.....	38
	【対象：事業実施校（教員）】集計結果.....	52
	【対象：事業実施校（児童・生徒）】集計結果.....	60
	●奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿.....	64

1 はじめに

奥州市が平成 20 年度に地域の教育力向上を目指し、当事業を開始してから今年度で 17 年が経過しました。今年度も、市内全小中学校 25 校を本事業の対象として、地域コーディネーターをはじめ、地域のボランティアの皆様の協力により、授業の補助、読書活動の支援、校外活動の安全見守り等の学校支援活動が行われ、教育活動の充実を図ることができました。

さて、令和 5 年度から、「社会に開かれた教育課程」を実現するための仕組みであるコミュニティ・スクールが、市内の小中学校全てにおいて始まっています。その中では、目指す子どもの姿を学校、地域住民で共有し、主体的に教育活動に参画していくことが求められます。この学校支援地域本部においてもこれまで築いてきた体制を生かし、コミュニティ・スクールと連携・協働し、取組を進めてまいります。

今後も学校支援地域本部事業の推進について、ますますのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 3 月

奥州市学校支援地域本部実行委員会

2 奥州市学校支援地域本部事業の構成



2 奥州市学校支援地域本部事業の構成

(1) 事業の目的

地域の特性・特色を生かした「学校と地域の協働による学校支援体制」づくりを推進することにより、学校環境全体の支援を行うとともに、地域住民と学校との連携強化に力を入れ、まだまだ眠っている地域の力を掘り起こすことにより地域の教育力の向上を図る。

(2) 事業期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(3) 事業内容

ア 実行委員会

- (ア) 実行委員会の開催（年2回）
- (イ) 広報活動の実施
- (ウ) 地域コーディネーター等の養成
- (エ) 学校支援ボランティアの養成
- (オ) アンケート調査の実施
- (カ) 成果報告書の作成

イ 各地域本部

地域本部名	本部構成校
水沢中学校支援地域本部	水沢中学校、水沢小学校、佐倉河小学校
東水沢中学校支援地域本部	東水沢中学校、常盤小学校、羽田小学校
水沢南中学校支援地域本部	水沢南中学校、水沢南小学校、真城小学校、姉体小学校
江刺第一中学校支援地域本部	江刺第一中学校、岩谷堂小学校、江刺愛宕小学校、田原小学校、稲瀬小学校、江刺ひがし小学校
学校支援前沢地域本部	前沢小学校、前沢中学校
胆沢中学校支援地域本部	胆沢中学校、胆沢第一小学校、南都田小学校、若柳小学校
衣川中学校支援地域本部	衣川中学校、衣川小学校、衣里小学校

- (ア) 地域コーディネーターの配置（各地域本部に配置）
- (イ) 広報活動の実施
- (ウ) 学校支援ボランティア募集

(4) 各学校支援地域本部の活動状況

ア 水沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・地域支援人材バンク登録募集とリストの作成 ・地域ボランティアの実施
7～9月	・地域ボランティアの実施
10～12月	・地域ボランティアの実施
1～3月	・地域ボランティアの実施

イ 東水沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・ボランティア募集の働きかけ ・職場体験についての打ち合わせ ・ボランティア活動の補助
7～9月	・ボランティア募集の働きかけ ・職場体験に向けた地域企業との連絡調整 ・ボランティア活動の補助
10～12月	・ボランティア募集の働きかけ ・ボランティア活動の補助
1～3月	・第2回地域教育協議会開催 ・ボランティア募集の働きかけ ・ボランティア活動の補助

ウ 水沢南中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・第1回地域教育協議会資料づくり ・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
7～9月	・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・水沢第一高校生ボランティア研究活動対応
10～12月	・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
1～3月	・報告書等実行委員会資料づくり ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整

エ 江刺第一中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・一中学区支援ボランティア募集チラシ案作成 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
7～9月	・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
10～12月	・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
1～3月	・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・報告書作成

オ 学校支援前沢地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成
7～9月	・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成 ・コーディネーター情報交換会参加
10～12月	・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成
1～3月	・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成

カ 胆沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・ 広報(チラシの作成配布掲示等) ・ 地域協議会資料作成、開催 ・ 事業計画書作成 ・ 第一回実行委員会 ・ 打ち合わせ、ボランティア連絡
7～9月	・ 打ち合わせ、ボランティア連絡 ・ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座 ・ 社会教育主事講習受講 ・ 学校と地域の連携・協働研修会 ・ 市地域コーディネーター情報交換会 ・ 水沢第一高校生ボランティア研究活動対応
10～12月	・ 打ち合わせ、ボランティア連絡、消耗品注文 ・ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座 ・ 市ボランティア研修会 ・ 中学校作品展示
1～3月	・ 打ち合わせ、ボランティア連絡 ・ 事業報告書作成 ・ 第二回実行委員会 ・ 市地域コーディネーター情報交換会

キ 衣川中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	・ 学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・ 担任との打ち合わせ、連絡調整 ・ 学校支援ボランティア活動の実施
7～9月	・ 学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・ 学校支援ボランティア募集 ・ 学校支援ボランティア活動の実施
10～12月	・ 学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・ 学校支援ボランティア募集 ・ 学校支援ボランティア活動の実施
1～3月	・ 学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・ 学校支援ボランティア募集 ・ 学校支援ボランティア活動の実施

奥州市学校支援地域本部

奥州市学校支援地域本部実行委員会
【生涯学習スポーツ課】

水沢中学校 支援地域本部	東水沢中学校 支援地域本部	水沢南中学校 支援地域本部	江刺第一中学校 支援地域本部	学校支援 前沢地域本部	胆沢中学校 支援地域本部	衣川中学校 支援地域本部
地域教育協議会	地域教育協議会	地域教育協議会	地域教育協議会	地域教育協議会	地域教育協議会	地域教育協議会
水沢中学校	東水沢中学校	水沢南中学校	江刺第一 中学校	前沢小学校	胆沢中学校	衣川中学校
水沢小学校	常盤小学校	水沢南小学校	岩谷堂小学校	前沢中学校	胆沢第一 小学校	衣川小学校
佐倉河小学校	羽田小学校	真城小学校	田原小学校		南都田小学校	衣里小学校
		姉体小学校	江刺ひがし 小学校		若柳小学校	

各地域本部に地域コーディネーターを配置する。(複数名体制も可能とする)
【市教育委員会で委嘱】

地区振興会・PTAなど、組織による協力体制
地域住民のボランティア活動による協力体制

7本部25校で実施

3 成果報告

- (1) 水沢中学校支援地域本部
- (2) 東水沢中学校支援地域本部
- (3) 水沢南中学校支援地域本部
- (4) 江刺第一中学校支援地域本部
- (5) 学校支援前沢地域本部
- (6) 胆沢中学校支援地域本部
- (7) 衣川中学校支援地域本部



3 成果報告

(1) 水沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

第1回：書面提案、第2回：書面議決

イ 地域コーディネーター

氏 名：高橋 育子

活動日数：118 日（326 時間）

ウ 登録ボランティア数

31 人（延べ参加人数 557 人）

エ 主な活動内容

【図書ボランティア】

読み聞かせボランティア「音読サークル あいうえおの会」と一般ボランティアによる読み聞かせ、学校支援ボランティアのメンバーにより構成された「ままだ〜る」によるペープサートの上演、本の修理、校内装飾を行いました。今年度で11 作目となるペープサートは「ジャックと豆の木」を上演しました。学区内の小学校だけでなく、学区外の小学校からも上演依頼があり、工夫を凝らしながら、多くの子どもたちに披露することができました。

【学習支援ボランティア】

今年度は水沢中学校、水沢小学校、佐倉河小学校の3校で家庭科（ミシン、裁縫、調理実習）の授業補助の活動を行いました。多くの地域のボランティアが見守ることで、安全かつスムーズに授業を進めることができましたと感じています。概ね例年通りの活動を行うことができ、子どもたちにとっても、地域の方と触れ合うことができる貴重な機会になっています。



●水沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・卒業式・入学式装飾撤去 ・支援本部事業説明	3人	2回
第2 四半期 7月～9月	・家庭科ミシン補助	64人	22回
第3 四半期 10月～12月	・読み聞かせ ・家庭科ミシン補助	26人	8回
第4 四半期 1月～3月	・卒業校内装飾	6人	2回

●水沢小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	ブックカバー、校内装飾作成、ペープサート台本・絵、読み聞かせ	72人	20回
第2 四半期 7月～9月	ブックカバー、校内装飾作成、ペープサート・紙芝居作成、ミシン補助	79人	22回
第3 四半期 10月～12月	ブックカバー、校内装飾、ペープサート練習、ミシン補助、読み聞かせ	139人	25回
第4 四半期 1月～3月	本カバー ペープサート話し合い	54人	15回

●佐倉河小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	読み聞かせ、校内装飾作成、ミシン打合せ・授業準備・補助	39人	11回
第2 四半期 7月～9月	読み聞かせ、校内装飾	14人	6回
第3 四半期 10月～12月	読み聞かせ、ミシン補助・調整、ペープサート、文化発表会手伝い	122人	12回
第4 四半期 1月～3月	校内装飾	10人	5回

(2) 東水沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：田村 恵美子

活動日数：126 日（323 時間）

ウ 登録ボランティア数

32 人（延べ参加人数 649 人）

エ 主な活動内容

【 読み聞かせボランティア 】

羽田小学校では、毎週金曜に読み聞かせのボランティアをおこなっています。子どもたちに合った選書をし、読書体験が楽しくなるような読み聞かせを続けています。また、常盤小学校では、今年度初めて図書まつりに参加しました。読み聞かせボランティアと音読グループの「あいうえおの会」の協力で、地域に伝わる民話「阿久戸のかっぱ」の紙芝居を読みました。

【 学習支援・家庭科補助ボランティア 】

東水沢中学校の家庭科支援で裁縫と調理実習補助のボランティアを行いました。アイロンやミシンの使い方、手縫いの縫い方など、生徒一人ひとりの進み具合に合わせて、きめ細かな支援を行うことができました。調理実習補助は昨年度からおこなっており、今年度も怪我をすることもなく、必要なサポートを生徒たちにできました。家庭科の実習は進み具合に差が出やすく、担任の先生だけではクラス全員の面倒を見るのは大変なため、生徒に対しても、とても有意義なボランティア支援を行うことができました。

【 1年生支援ボランティア 】

常盤小学校で1年生の支援ボランティアを行いました。4月の入学後から約1か月間、1年生のクラスにボランティアが入り、授業中の補助や給食準備などを行い、初めて小学校生活を送る1年生が安心して学校生活になじめるようになりました。

●東水沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4月～6月			
第2四半期 7月～9月	・職場体験補助 ・1年家庭科実習補助	129人	21回
第3四半期 10月～12月	・1年家庭科実習補助	26人	5回
第4四半期 1月～3月	・2年家庭科実習補助	36人	8回

●常盤小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4月～6月	・事業打ち合わせ ・1年生学習支援 ・校外活動支援 ・読み聞かせ	100人	21回
第2四半期 7月～9月	・図書館蔵書補修 ・校外活動支援 ・読み聞かせ	29人	4回
第3四半期 10月～12月	・配慮児童の学習支援 ・図書まつり打ち合わせ ・図書まつり ・読み聞かせ ・図書館蔵書補修	67人	29回
第4四半期 1月～3月			

●羽田小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4月～6月	・読み聞かせ	73人	11回
第2四半期 7月～9月	・読み聞かせ	58人	8回
第3四半期 10月～12月	・読み聞かせ ・マラソン大会、試走見守り ・5年家庭科補助 ・1年リース作り補助 ・図書祭りペープサート	82人 9人 4人 4人 1人	12回 2回 1回 1回 1回
第4四半期 1月～3月	・読み聞かせ	61人	9回

(3) 水沢南中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：菅原 真澄

活動日数：127 日（270 時間）

ウ 登録ボランティア数

54 人（延べ参加人数 361 人）

エ 主な活動内容

【 学習支援・付き添いボランティア 】

校内活動では、家庭科や習字の学習支援を行いました。

校外活動では、まち探検やお仕事探検、また、施設見学や体験などの付き添いボランティアの活動を行いました。

子どもたちと接しながら、ボランティアさん同士の交流も図りながら楽しく活動できたと思います。

【 図書ボランティア 】

登録ボランティアによる読み聞かせと、「ままだ〜る」の協力によるペープサート上演を行いました。

しかけ絵本や大型絵本での読み聞かせや昔話りのボランティアもおおり、子どもたちは楽しみにしてくれて、子どもたちにとっても、ボランティアにとっても、いい時間を過ごすことができています。

図書ボランティアでは今年度はバーコード貼りや校内装飾づくりをしました。ボランティア同士がとてもいい雰囲気の中で活動することができ、図書室で活動していると子どもたちから声をかけてくれることもあり、張り合いにつながっています。

【 ボランティアへのインタビュー 】

今年度は初めて、6年生からボランティアへのインタビューや水一の生徒からの取材がありました。

●水沢南中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	活動なし		
第2 四半期 7月～9月	活動なし		
第3 四半期 10月～12月	活動なし		
第4 四半期 1月～3月	活動なし		

●水沢南小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	神楽衣装補修	3人	1回
	習字・家庭科支援	40人	9回
	図書カバー・装飾	12人	2回
	読み聞かせ	17人	5回
第2 四半期 7月～9月	図書カバーづくり・装飾	35人	7回
	読み聞かせ	16人	5回
第3 四半期 10月～12月	家庭科支援(ミシン)	43人	10回
	装飾	14人	2回
	読み聞かせ	11人	3回
第4 四半期 1月～3月	装飾	10人	2回
	次年度計画		

●真城小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	自転車教室	2人	1回
	町・お仕事探検・社会科見学(ダム)	14人	5回
	習字支援	5人	1回
	家庭科支援	17人	4回
	図書ボランティア	6人	1回
第2 四半期 7月～9月	図書ボランティア	19人	3回
	社会科見学(ごみ処理場)	1人	1回
第3 四半期 10月～12月	家庭科支援	8人	2回
	図書ボランティア	15人	3回
	社会科見学(図書館)(ノームの森)	2人	2回
第4 四半期 1月～3月	図書ボランティア 次年度計画	4人	1回

●姉体小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	下校見守り・交通安全教室	16人	4回
	図書装飾	4人	1回
	学区探検見守り・スーパー見学	12人	4回
	家庭科・習字支援	13人	3回
	読み聞かせ	3人	3回
第2 四半期 7月～9月	読み聞かせ	5人	5回
第3 四半期 10月～12月	家庭科支援	14人	4回
	マラソン	2人	1回
	読み聞かせ・読書まつり	12人	5回
	図書装飾	7人	1回
第4 四半期 1月～3月			



(4) 江刺第一中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：菊地 喜久子

活動日数：194 日（872 時間）

ウ 登録ボランティア数

70 人（延べ参加人数 501 人）

エ 主な活動内容

【 季節の壁面装飾作成、掲示 】

定期活動として自主的に毎月テーマを決め、作成掲示を行っています。当初はラミネートが中心の掲示物でしたが、年を重ねるごとに立体的掲示が中心で、力が入った自画自賛の作品の反応を楽しみながらの自由な活動でした。今年度も業間休みには子どもたちと一緒に作成を行い、大変盛況で交流を深めることができました。

【 図書の読み聞かせ、環境整備 】

読み聞かせでは各学校の子どもたちが楽しみに待っていてくれるので、各校との時間調整を綿密に行い、読み手の皆さんも子どもたちの反応に手ごたえを感じ、より一層気合を入れてがんばっています。また今年度は岩谷堂小学校から図書データ入力支援依頼があり、年度末ぎりぎりまでがんばりました。

【 学校、校外活動支援 】

各校コミュニティ・スクール導入により、従来の下校指導見守り、家庭科ミシン、自転車教室に加え、地域を知る工場、農園見学等の支援が多くなりました。支援者の皆様も子どもたちとともに楽しまれていました。また今年度は水沢高校、水沢第一高校からの支援依頼もあり、地域の皆様とともに活動もでき一回り大きな繋がりができました。

●江刺第一中学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （4月-春の装い 6月-立体紫陽花, カエルの勝手でしょ）	20名	6回
	② 図書ブックコート	23名	9回
	③ 読み聞かせ	24名	6回
第2四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （7, 8月-立体花火と吹流し, 盆踊り）	15名	6回
	② 図書ブックコート	30名	9回
	③ 水沢一校生ボランティア研究活動対応	8名	1回
	④ 読み聞かせ	24名	3回
第3四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （10月-ハロウィン 11, 12月-クリスマスリース）	15名	6回
	② 図書ブックコート	26名	10回
	③ 水高生資源再利用研究活動支援	12名	4回
第4四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （1, 2月-バレンタインのモザイクハート 立体花）	10名	5回
	② 赤色合格だるま+応援団作成・掲示	12名	4回
	③ 卒業・入学祝いメッセージ作成（予定）	4名	2回

●岩谷堂小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会 玉入れ 6月-立体紫陽花, カエルの勝手でしょ）	26名	8回
	② 1学年給食指導補助	20名	4回
	③ 1学年下校指導兼見守り	20名	4回
	④ 春の自転車教室・交通安全教室補助	24名	6回
	⑤ 読み聞かせ	27名	9回
	⑥ 図書室関連作業（代本板作り）	6名	1回
	⑦ 田植え支援	8名	1回
第2四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （7, 8月-ぐりとぐらの夏休み, 立体花火と吹流し）	23名	8回
	② 読み聞かせ	32名	7回
	③ 稲刈り支援	10名	1回
	④ ぎんなん原稿		
第3四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所）	24名	7回

	(10月-ハロウィン 11,12月-サンタが 岩小にやってきた)		
	② 10月 家庭科ミシン補助	38名	9回
	③ トヨタ自動車東日本見学	6名	2回
	④ 回進堂見学	9名	3回
	⑤ 岩谷堂箆笥製作所・菊広見学	10名	3回
	⑥ 秋の自転車教室補助 (4年)	6名	1回
	⑦ 読み聞かせ	32名	8回
	⑧ 業間休み簡単工作 (リースとツリー)	7名	1回
	⑨ 図書整理とデータ登録	20名	15回
	⑩ 授業参観と作品展示見学	1名	1回
第4四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1,2月-モザイクハートの花)	18名	6回
	② 図書整理とデータ登録	5名	5回
	③ 卒業・入学祝いメッセージ作成	4名	2回

●江刺愛宕小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動 会玉入れ 6月-立体紫陽花, カエルの 勝手にしょ)	10名	6回
第2四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7, 8月-立体花火と吹流し)	8名	6回
	② 6年生見守り、掲示物作成	25名	10回
	③ まち探検	19名	1回
第3四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (10月-ハロウィン 11,12月-サンタ が愛宕小にやってきた)	8名	7回
	② ミシン学習支援	23名	5回
	③ 学習発表会見学	2名	1回
第4四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-モザイクハート)	6名	3回
	② 調理実習支援	8名	2回
	③ 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予 定)	1名	1回

●稲瀬小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (4箇所) (4月-入 学おめでとう, 桜 5月-運動会玉入れ 6月-立体紫陽花, 雨々降れ降れ, カエルの 勝手にしょ)	10名	6回

	② 読み聞かせ	8 名	4 回
第 2 四半期 7～9 月	① 壁面装飾作り・掲示（4箇所） （7, 8月-立体花火と吹流し） ② 読み聞かせ	8 名 12名	6 回 6 回
第 3 四半期 10～12 月	① 壁面装飾作り・掲示（4箇所） （10月-ハロウィン 11, 12月-サンタ が稲瀬小にやってきた） ② 読み聞かせ	10名 12名	6 回 6 回
第 4 四半期 1～3 月	① 壁面装飾作り・掲示（4箇所） （2月-モザイクハート立体花その他いろ いろ） ② 卒業・入学祝いメッセージ作成	8 名 1 名	5 回 1 回

●田原小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第 1 四半期 4～6 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動 会玉入れ 6月-立体紫陽花, カエルの 勝手にしょ）	15名	7 回
第 2 四半期 7～9 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （7, 8月-立体花火と吹流し, 盆踊り） ② 読み聞かせ	8 名 6 名	6 回 2 回
第 3 四半期 10～12 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （10月-ハロウィン 11, 12月-サンタ が田原小にやってきた） ② 田原小芸術鑑賞会参加 ③ 読み聞かせ ④ 読書まつり参加（読み聞かせ）	6 名 3 名 6 名 3 名	6 回 1 回 2 回 1 回
第 4 四半期 1～3 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （1, 2月-モザイクハート立体花） ② 卒業・入学式会場特別掲示 ③ 卒業・入学祝いメッセージ作成	6 名 1 名 1 名	6 回 1 回 1 回

●江刺ひがし小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第 1 四半期 4～6 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動 会玉入れ 6月-立体紫陽花, カエルの 勝手にしょ） ② 1学年給食指導支援	8 名 12名	6 回 4 回
第 2 四半期 7～9 月	① 壁面装飾作り・掲示（2箇所） （7, 8月-立体花火と吹流し） ② 読み聞かせ ③ 子ども安全教室	8 名 23名 3 名	6 回 6 回 1 回

第3 四半期 10～12 月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (10月-ハロウィン 11,12月-サンタが ひがし小にやってきた)	10名	7 回
	② 読み聞かせ	20名	5 回
	③ ミシン学習支援	23名	6 回
	④ 学習発表会見学	3 名	1 回
	⑤ とりっこカルテットコンサート鑑賞	5 名	1 回
第4 四半期 1～3 月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-モザイクハート立体花)	8 名	6 回
	② 卒業・入学祝いメッセージ作成	1 名	1 回

(5) 学校支援前沢地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：岩渕 美樹
活動日数：143 日（440 時間）

ウ 登録ボランティア数

72 人（延べ参加人数 683 人）

エ 主な活動内容

【 読み聞かせボランティア 】

今年度もモチモチの会による読み聞かせを1年間通して行いました。新たな会員の加入により、更に活発な活動につながっています。引き続き、保護者を中心にメンバーを募集していきます。読書まつりにも参加でき、子どもたちにも楽しい時間を過ごしてもらうことができました。ボランティアにとっても、子どもたちと面と向かって触れ合える貴重な時間となりました。

【 学習支援ボランティア 】

前沢小学校では、稲作指導、家庭科の授業補助、習字の授業補助、生活科の見守りの活動などを行いました。実技教科においては、地域のボランティアの皆さんの協力は欠かすことのできないものになっています。

また前沢中学校では、技術の木工支援を行いました。生徒にとってはプロの技を間近で見ることができる貴重な機会となり、また支援したボランティアにとっては、生徒に技を伝えることが喜びとなっています。

【 1年生給食準備ボランティア 】

1年生の給食準備ボランティアを、今年度も継続して行いました。児童の保護者を中心に、多くの地域のボランティアの皆さんにご協力いただき、スムーズに給食の準備をすることができました。保護者にとっては、子どもたちの学校生活の様子を知ることができる貴重な機会にもなっています。

【 全校児童活動支援 】

コロナ以降、縦割り班での、全校行事が減っていたため、校内ウォークラリーを行いました。グループごとに6年生リーダーが、時間内行動が出来るように、前もって計画を立てました。当日は、責任をもって下級生に、分かりやすく説明したり、丁寧にサポートしたりする姿が見られました。保護者や地域の方々には、事前に地域のクイズを考えていただきました。また、当日のクイズ出題やゲーム対応を通して、楽しく交流していました。貴重な異世代間の交流になり、継続開催を希望する声も寄せられました。

●前沢小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	- 給食準備 - 習字支援 - 田植え支援 - モチモチの会 1年生遠足 2年生遠足 - 体力テスト測定支援	87名 50名 5名 14名 11名 15名 24人	13回 21回 1回 2回 1回 2回 6回
第2 四半期 7月～9月	- 習字支援 - 手縫い支援 - モチモチの会 - 稲刈り支援 2年生虫捕り支援	55名 44名 33名 4名 6名	16回 6回 7回 1回 1回
第3 四半期 10月～12月	- 習字支援 - ミシン点検及びビブス調整 - ミシン授業支援 - モチモチの会 2年生町探検支援 - 学習支援	71名 3名 70名 35名 6名 27名	24回 1回 12回 7回 1回 21回
第4 四半期 1月～3月	- 習字支援 - 学習支援 - 校内ウォークラリー - ミシン点検（業者修理の確認）	30名 16名 40名 2名	9回 12回 1回 1回
その他	5年生餅つき補助 - 授業参観支援 - 新入学生説明会補助 - 卒業式補助（小中学校）		

●前沢中学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月			
第2 四半期 7月～9月	木工授業支援	50名	12回
第3 四半期 10月～12月	文化祭でのボランティア紹介活動	3名	1回
第4 四半期 1月～3月			

(6) 胆沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会（委員数 21 名）

第 1 回：令和 6 年 5 月（書面議決）、第 2 回：開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：高橋 加奈子
活動日数：130 日（397 時間）

ウ 登録ボランティア数

20 人（延べ参加人数 444 人）

エ 主な活動内容

【 校内環境整備ボランティア 】

校内装飾掲示、雑巾縫製、畑や花壇の草取り、観葉植物の水やりの手伝いに取り組みました。草取りでは、児童と一緒にコミュニケーションをとりながら活動しました。観葉植物の水やりでは、世話をしているうちにだんだん植物が元気になり花が咲き嬉しく感じました。

【 図書ボランティア 】

図書のブックコートや修理をはじめとする様々な作業のお手伝いや本立てや紙芝居舞台の作成を行いました。また、読み聞かせは、ボランティアさんからの発案により、中学校での読み聞かせ会の開催に繋がる等、活発な活動となっています。

【 安全見守りボランティア 】

町探検や持久走大会での安全見守りボランティアを行ったほか、胆沢中学校では下校の安全見守りボランティアを行いました。町探検では、地域の方の暖かい受け入れや児童の積極的な質問に感心させられました。

【 学習支援ボランティア 】

今年度は胆沢第一小学校、南都田小学校、若柳小学校で家庭科の授業補助を行い、裁縫やミシン、調理実習の支援を行いました。子どもたちの出来なかったことが出来るようになる時の嬉しそうな笑顔が何よりの励みとなっています。

【 その他 】

チラシやポスターの作成、ボランティア研修会や交流会への参加を通じてボランティアさんも広報活動に参画しています。

●胆沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾作成・掲示	6人	3回
	校内整備（観葉植物のお世話）	1人	3回
	図書室補助作業	27人	8回
	下校安全見守り	16人	11回
第2 四半期 7月～9月	装飾作成・掲示	3人	1回
	校内整備（観葉植物のお世話）	4人	5回
	図書室補助作業	4人	3回
	ボランティア募集ポスター作製	3人	1回
	下校安全見守り	12人	8回
第3 四半期 10月～12月	装飾作成・掲示	4人	3回
	校内整備（観葉植物のお世話）	11人	11回
	図書室補助作業	14人	11回
	読み聞かせ	1人	1回
	市ボランティア研修会参加	7人	1回
	下校安全見守り	17人	12回
第4 四半期 1月～3月	装飾作成・掲示	15人	8回
	校内整備（観葉植物のお世話）	2人	1回
	図書室補助作業	4人	2回
	ボランティア交流会参加	7人	1回
	下校安全見守り	3人	5回

●胆沢第一小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾掲示	0人	1回
	家庭科支援	8人	2回
	図書室補助作業	22人	12回
	読み聞かせ	6人	4回
第2 四半期 7月～9月	装飾掲示	4人	2回
	家庭科支援	79人	14回
	図書室補助作業	11人	6回
	読み聞かせ	13人	5回
	2年生町探検引率補助	8人	1回
	広報活動	1人	1回
第3 四半期 10月～12月	装飾掲示	7人	3回
	図書室補助作業	22人	14回
	読み聞かせ	12人	4回
	家庭科支援	14人	3回
第4 四半期 1月～3月	図書室補助作業	8人	10回
	読み聞かせ	3人	1回

●南都田小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾掲示	0人	1回
	図書室補助作業	3人	1回
	読み聞かせ	3人	2回
	家庭科支援	15人	5回
第2 四半期 7月～9月	装飾掲示	3人	2回
	読み聞かせ	5人	4回
	家庭科支援	34人	8回
	広報活動	6人	1回
第3 四半期 10月～12月	装飾掲示	0人	3回
	図書室補助作業	7人	8回
	読み聞かせ	4人	4回
	家庭科支援	15人	4回
第4 四半期 1月～3月	図書室補助作業	5人	3回

●若柳小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	花壇、畑草取り	6人	1回
	図書室補助作業	6人	2回
第2 四半期 7月～9月	花壇草取り	1人	1回
	図書室補助作業	0人	1回
第3 四半期 10月～12月	図書室補助作業	5人	3回
	持久走大会安全見守り	3人	1回
	家庭科支援	26人	5回
第4 四半期 1月～2/12	図書室補助作業	3人	1回

(7) 衣川中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会（委員数 13 名）

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：石川 隆信、横山 剛

活動日数：74 日（97 時間）

ウ 登録ボランティア数

1 人（延べ参加人数 387 人）

エ 主な活動内容

【 学習支援ボランティア 】

衣里小学校では、読み聞かせや地域学習の支援を行いました。歴史学習や自然体験では、地元のボランティアの方々のおかげで、子どもたちは地元の良さを再発見することができ、また安全に活動することができました。今年は新たに地域の名人から、イノシシワナの仕組みや門松の作り方を学び、地域の自然や文化に気付くことが出来ました。学校にとっては、地域の方々によるボランティアは欠かすことのできない活動になっています。

【 稲作学習ボランティア 】

地域の農家や農協、地区振興会、土地改良区の方々の協力により、田植えから稲刈り、精米までの稲作学習を行いました。ボランティアの方々が熱心に指導してくれたおかげで、収穫の実感と喜びを子どもたちに伝えることができ、またボランティアにとっても、子どもたちへ指導したことが農業への自信につながっていると感じています。収穫した米は、収穫祭で関係した方々に振る舞ったり、地域の高齢者施設に寄付したりしました。

【 職業学習ボランティア 】

地元の卒業生がどのように活躍されているのかを学ぶ学習として、地元出身者を招いての職業学習を行いました。今年度も引き続き、岩手銘醸杜氏、リコパン工房職人、国立水沢天文台技師の方々 3 名からお話をいただきました。大人として生きていくことや職業についての考え方、これから卒業する児童に対しての贈る言葉など、身近な方の話を子どもたちは真剣に聞き入っていました。

●衣川中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・家庭科授業補助	7人	7回
第2 四半期 7月～9月	・家庭科授業補助	6人	6回
第3 四半期 10月～12月	・家庭科授業補助	6人	6回
第4 四半期 1月～3月			

●衣川小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・水生生物調査	2人	1回
	・スクールガード紹介式	7人	1回
	・田植え（事前学習含）	10人	2回
	・ふるさと遠足	8人	2回
	・地域探検	6人	4回
第2 四半期 7月～9月	・七夕飾り	5人	1回
	・「お宝たんてい団」（調査活動）	36人	21回
	・「お宝たんてい団」（発表会）	5人	1回
	・案山子作り	2人	1回
	・稲刈り	6人	1回
第3 四半期 10月～12月	・世界遺産学習	1人	1回
	・歴史学習	2人	1回
	・地域探検	3人	3回
	・防災学習	3人	1回
第4 四半期 1月～3月	・ふるさと学習発表会		1回
	・みずきならし		1回

時期	主な活動内容	延べ参加人数	実施回数
年間	読み聞かせ	24人	6回
年間	登下校見守り あるゴーの日	81人	51回
年間	子どもみ神楽伝承活動	25人	12回
夏	ホテル観察会	10人	2回
夏	星空展望会	60人	6回

●衣里小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	学校農園の起耕作業及び畝立て	2人	2回
	5学年育苗ハウス見学及び第1回稲作のプレゼンテーション	4人	1回
	5学年田植え体験とバケツ稲体験	6人	1回
第2 四半期 7月～9月	5学年木工工作ペン立て作り	1人	1回
	5学年稲作学習・北大堰取水口見学と第2回プレゼンテーション稲作学習	5人	1回
	5学年稲作学習・カントリーエレベーター見学と実習田の稲株生育調査	3人	1回
	3学年郷土を知る学習「川西橋」	2人	1回
	1学年動物とのふれあい（ポニー、山羊）	4人	1回
	3学年郷土を知る学習「長者原廃寺跡」	2人	1回
	6学年キャリア教育・岩手銘醸杜氏 三浦健太郎氏から学ぶ	2人	1回
	5学年稲作学習、稲刈りと棒がけ体験	5人	1回
第3 四半期 10月～12月	1学年野外学習・秋を探す活動	1人	1回
	5学年稲作・脱穀体験活動	4人	1回
	6学年キャリア教育パン職人から学ぶ活動、西川氏のパン工房で学ぶ	2人	1回
	3学年総合的学習「名人を探せ」イノシシ捕獲名人から学ぶ	2人	1回
	5学年稲作・収穫祭実施と稲作のまとめプレゼンテーションで学ぶ、新米贈呈式（羽衣荘への新米贈呈）	15人	1回
	1・2学年焼き芋体験活動	2人	1回
	6学年キャリア教育 国立天文台水沢・技師・上野祐治氏から学ぶ	2人	1回
	3学年総合的学習「名人を探せ」門松作り名人から学ぶ体験活動	2人	1回
第4 四半期 1月～3月	活動のまとめと報告書作成	1人	1回
	堆肥購入と運搬作業	1人	1回
年間	・読み聞かせ	5人	6回
	・見守り	8人	毎日
	・家庭科補助（ミシン）	今年は小学校職員で実施	

4 研修活動、広報活動報告



4 研修活動、広報活動報告

(1) 研修活動

ア 県主催の研修会への参加

- (ア) 県南教育事務所管内「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

日 付：7月5日（水）

場 所：前沢ふれあいセンター

参加者：地域コーディネーター4名

内 容：パネルディスカッション「コミュニティ・スクールのしくみを生かした

学校と地域のつながりづくり」

コーディネーター：秋田県生涯学習センター 社会教育主事

秋田大学 非常勤講師

元文部科学省 コミュニティ・スクール推進員 皆川雅仁 氏

パネリスト：一関市立一関小学校 校長 菅原正樹 氏

一関市立大東中学校 校長 菅原正浩 氏

講演・演習「熟議」で広がる学校運営協議会の可能性

～より多くの声に耳を傾けるために～

講 師：秋田県生涯学習センター 社会教育主事

秋田大学 非常勤講師

元文部科学省 コミュニティ・スクール推進員 皆川雅仁 氏

- (イ) 令和6年度 学校と地域の連携・協働研修会

日 付：8月8日（木）

場 所：岩手県立生涯学習推進センター / オンライン

参加者：地域コーディネーター3名

内 容：基調講演「地域と学校の連携はどこに向かうのか」

講 師：岩手県立大学 高等教育推進センター 准教授 山沢 智樹 氏

パネルディスカッション「地域学校協働活動を地域づくりや学校づくりにどのようにつなげるか」

実践発表①「学校管理職の視点から」

二戸市浄法寺小学校 副校長 高橋 真弓 氏

実践発表②「学校運営協議会の視点から」

奥州市立岩谷堂小学校 校長 佐藤 浩司 氏

PTA顧問 佐藤 孝大 氏

実践発表③「PTAの視点から」

紫波町立紫波第三中学校 PTA会長 高野 智章 氏

意見交流会

コーディネーター：岩手県立大学 高等教育推進センター 准教授 山沢 智樹 氏

- (ロ) 令和6年度 県南教育事務所管内「地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座」

日 付：11月19日（火）

場 所：東山地域交流センター

参加者：地域コーディネーター4名

内 容：講演・演習「こんなのであれば、あったらいいな 地域学校協働活動」

講師：岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木勉 氏

イ 市主催の地域コーディネーター等情報交換会の開催

(ア) 第1回地域コーディネーターとの情報交換会

日 付：8月19日（月）

場 所：水沢地区センター

参加者：地域コーディネーター7名

内 容：コーディネーター活動日誌について、ボランティアハンドブックの更新について、ボランティア研修会について、情報交換（フリートーク）

(イ) 第2回地域コーディネーターとの情報交換会

日 付：2月17日（月）

場 所：水沢地区センター

参加者：地域コーディネーター7名

内 容：活動時間・消耗品費の状況確認、今後の予定について、情報交換（フリートーク）

ウ 市主催の学校支援ボランティア研修会の開催

奥州市学校支援ボランティア研修会

日 付：10月16日（水）

参加者：地域コーディネーター6名、一般20名

内 容：説明「学校支援活動を行う前に知っておきたいこと」

奥州市教育委員会事務局学校教育課 課長補佐 菊地和裕 氏

講演「学校を核にした地域づくり ～生きがいづくり・楽しみづくり～」

岩手県立県南青少年の家 所長 佐藤 敦士 氏

(2) 広報活動

ア ホームページ、広報誌等への記事掲載

(ア) ホームページ

- ・市ホームページにて事業周知およびボランティア募集

(イ) 広報誌

- ・8月22日発行 広報おうしゅう9月号

イ 地区振興会等への周知

- ・振興会だより等へのボランティア募集記事掲載のお願い

ウ ポスター、チラシ、学校支援だよりの作成

(ア) 水沢中学校支援地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成
- ・地区センターにチラシ、ポスターを設置
- ・本部内小中学校の保護者に募集チラシを配布

(イ) 東水沢中学校支援地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成
- ・本部内小中学校の保護者に募集チラシを配布

(ウ) 水沢南中学校支援地域本部

- ・ボランティア募集ポスター掲示（各校・各地区センター）
- ・学校を通して児童の家庭にチラシを配布

(エ) 江刺第一中学校支援地域本部

- ・岩谷堂小学校広報誌「ぎんなん」にて事業周知・ボランティア募集
- ・保険付きボランティア募集チラシを各校へ配布

(オ) 学校支援前沢地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成、配布
- ・学校広報へのボランティア募集記事の掲載

(カ) 胆沢中学校支援地域本部

- ・地区センターへの事業周知、ボランティア募集の協力依頼
- ・事業周知・ボランティア募集のチラシ、ポスターを作成
- ・地区センター、各小学校にチラシやポスターを設置

(キ) 衣川中学校支援地域本部

- ・学校広報誌での事業周知
- ・学区内保護者にチラシを配布
- ・地区振興会広報誌に事業内容掲載

5 資 料

●学校支援地域本部事業に関する調査

【対象：学校支援ボランティア】集計結果

【対象：事業実施校（教員）】集計結果

【対象：事業実施校（児童・生徒）】集計結果

●奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿



市学校支援ボランティア研修会

令和6年度

学校支援地域本部事業に関するアンケート

【対象：学校支援ボランティア】

集計結果

調査期間：令和7年1月23日（木）から2月21（金）まで
調査対象者：学校支援ボランティア 221名
アンケート提出者：151名（回収率 68.3%）

問1 どちらの学校で活動をしていますか？【複数回答可】

・水沢中学校支援地域本部

学校名	水沢中	水沢小	佐倉河小	計
人数	16	17	16	49

・東水沢中学校支援地域本部

学校名	東水沢中	常盤小	羽田小	計
人数	14	22	13	49

・水沢南中学校支援地域本部

学校名	水沢南中	水沢南小	真城小	姉体小	計
人数	3	17	16	21	57

・江刺第一中学校支援地域本部

学校名	江刺一中	岩谷堂小	江刺愛宕小	田原小	稲瀬小	江刺ひがし小	計
人数	11	12	9	3	0	10	45

・学校支援前沢地域本部

学校名	前沢小	前沢中	計
人数	47	9	56

・胆沢中学校支援地域本部

学校名	胆沢中	胆沢一小	南都田小	若柳小	計
人数	7	9	11	7	34

・衣川中学校支援地域本部

学校名	衣川中	衣川小	衣里小	計
人数	3	1	1	5

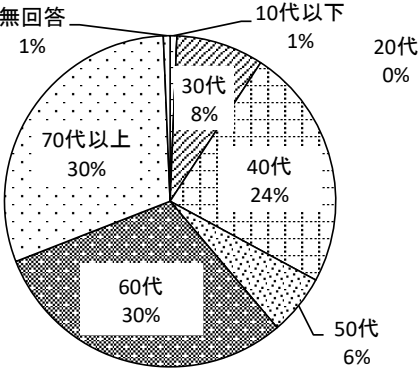
・無回答 1

問2 年齢について該当する番号に○をしてください。

【年齢】

	項目	人数	構成比
1	10代以下	1	0.7%
2	20代	0	0.0%
3	30代	13	8.6%
4	40代	36	23.7%
5	50代	9	5.9%
6	60代	46	30.3%
7	70代以上	46	30.3%
	無回答	1	0.7%
	計	152	100.0%

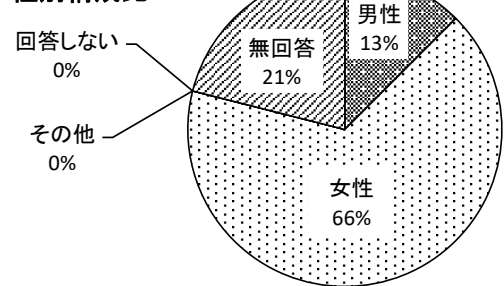
年代別構成比



【性別】

	項目	人数	構成比
1	男性	19	12.5%
2	女性	101	66.4%
3	その他	0	0.0%
4	回答しない	0	0.0%
	無回答	32	21.1%
	計	152	100.0%

性別構成比

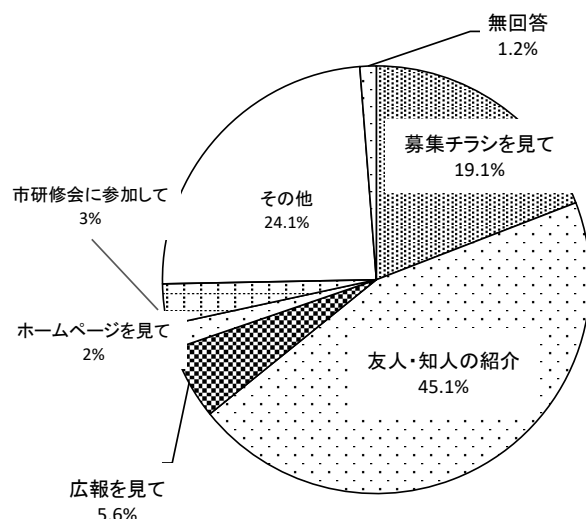


問3 どのようなきっかけで活動に参加されましたか？（複数回答可）

	回答	回答数	割合
1	募集チラシを見て	31	19.1%
2	友人・知人の紹介	73	45.1%
3	広報を見て	9	5.6%
4	ホームページを見て	3	1.9%
5	市研修会に参加して	5	3.1%
6	その他	39	24.1%
	無回答	2	1.2%
	計	162	100.0%

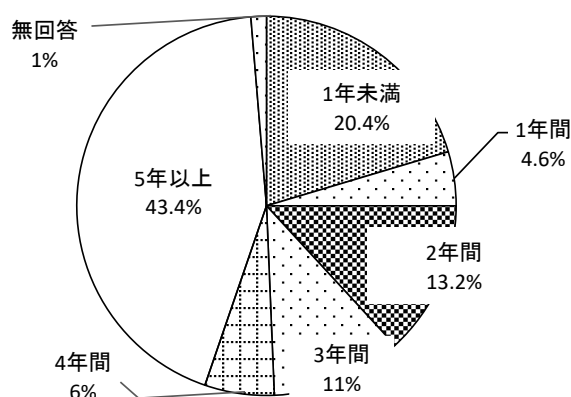
【その他の内容】

- ・ 学校からの案内 (16件)
- ・ コーディネーターからの案内 (3件)
- ・
- ・ 子どもたちとのふれあいであった学校勤務上から言葉の持つ働きを密接な関係の中で痛感したから。
- ・ 自分から希望して探して
- ・ 家族
- ・ かなり前から法人として活動しており、その法人へ私が加入したことで活動に関わった
- ・ 中学校での読み聞かせ当初から読み聞かせの会の仲間と行っていた。
- ・ ボランティアで地区センターで読み聞かせ等を行っていたから。
- ・ 子どもが小学生になってから
- ・ PTA、少年補導員、交通指導員
- ・ 登下校の送迎がきっかけ
- ・ 厚生保護女性の会ボランティア活動の関係
- ・ 小学校の交通安全教室に参加した際、声をかけられたので
- ・ 学校からの要請に応じて。
- ・ 子どもが通っている学校だから
- ・ 奥州市生涯学習スポーツ課に聞いて



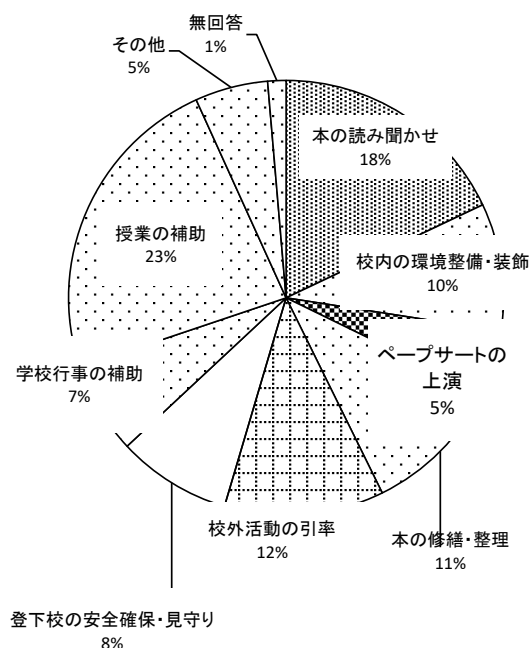
問4 どのくらいの期間ボランティアとして活動していますか？

	回答	回答数	割合
1	1年未満	31	20.4%
2	1年間	7	4.6%
3	2年間	20	13.2%
4	3年間	17	11.2%
5	4年間	9	5.9%
6	5年以上	66	43.4%
	無回答	2	1.3%
	計	152	100.0%



問5 今年度、どのような活動に参加されましたか？（複数回答可）

	回答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ	53	18.0%
2	校内の環境整備・装飾	28	9.5%
3	ペープサートの上演	14	4.7%
4	本の修繕・整理	31	10.5%
5	校外活動の引率	35	11.9%
6	登下校の安全確保・見守り	25	8.5%
7	学校行事の補助	20	6.8%
8	授業の補助	69	23.4%
9	その他	16	5.4%
	無回答	4	1.4%
	計	295	100.0%



【授業の補助の内容】

- ・ 家庭科（ミシン、裁縫、調理実習など） （33件）
- ・ 習字 （13件）
- ・ 稲作学習 （3件）
- ・ 木工工作（ノコギリ補助など） （4件）
- ・ 給食補助 （4件）
- ・ 1年生の授業の見守り （3件）

- ・ 1学年図工等
- ・ アサガオのつるでリースづくり
- ・ テストの採点
- ・ 生活科
- ・ 総合的な学習のゲストティーチャー
- ・ 宿題丸つけ
- ・ 学習支援（マル付け）

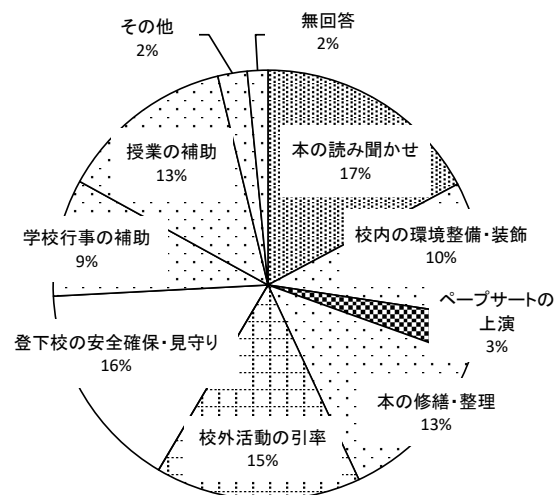
【その他の内容】

- ・ 給食補助 （6件）
- ・ 家庭科（ミシン、裁縫、調理実習など） （2件）
- ・ 木工工作（ノコギリ補助など） （2件）

- ・ 習字学習の補助
- ・ 読書まつり
- ・ 体験学習（農業）
- ・ 本のしおり作成
- ・ 自分の子どもが活動するとき
- ・ 校内レクリエーション
- ・ 新入学生の学校生活中の見守りや補助
- ・ 丸つけ

問6 活動を通して、子どもたちにとって必要な活動は何だと感じましたか？（複数回答可）

	回答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ	78	17.2%
2	校内の環境整備・装飾	46	10.2%
3	ペープサートの上演	14	3.1%
4	本の修繕・整理	57	12.6%
5	校外活動の引率	70	15.5%
6	登下校の安全確保・見守り	71	15.7%
7	学校行事の補助	40	8.8%
8	授業の補助	60	13.2%
9	その他	10	2.2%
	無回答	7	1.5%
	計	453	100.0%



【授業の補助の内容】

- ・ 家庭科（ミシン、裁縫、調理実習など）（21件）
- ・ 習字（9件）
- ・ 木工工作（ノコギリ補助など）（4件）
- ・ 給食補助（2件）

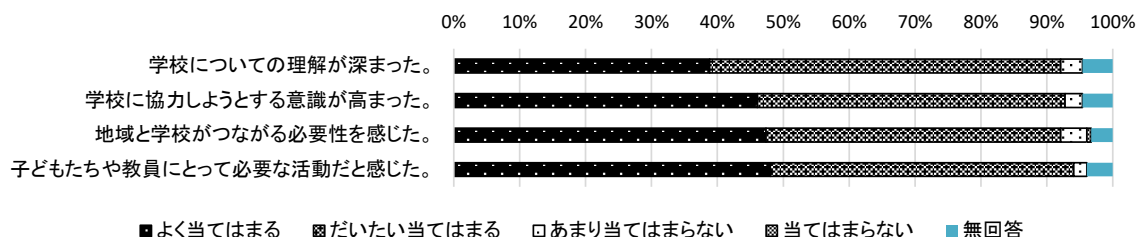
- ・ 農作業を通じてお米（食糧）を自分で作るということを体験して知ってもらうのは大切な活動だと思う。
- ・ 体育、理科
- ・ 実習の時
- ・ 求めに応じてのゲストティーチャー
- ・ 低学年のサポート
- ・ 新1年生の見守りなど
- ・ 学習支援（マル付け）

【その他の内容】

- ・ 上記事項等は全て子どもたちの健全育成上必要。欠かざるものなり。
- ・ 地元につながる民話を語る
- ・ 上記を含めいろいろな活動を通じた地域の方々との交流
- ・ 習字、家庭科など
- ・ 児童と顔なじみになることが大切だと思う
- ・ 人とのふれあい
- ・ 低学年はとくに
- ・ 語り部
- ・ 関わり合いの積み重ね
- ・ 丸つけ
- ・ 給食配膳の補助等

問7 活動を通して感じたことについて、最も近いもの1つに○をつけてください。

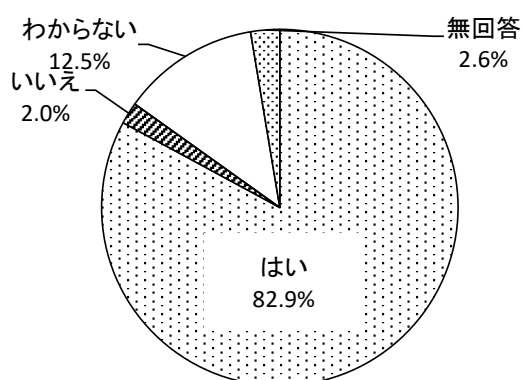
	回答	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答	計
1	学校についての理解が深まった。	59	81	5	0	7	152
2	学校に協力しようとする意識が高まった。	70	71	4	0	7	152
3	地域と学校がつながる必要性を感じた。	72	68	6	1	5	152
4	子どもたちや教員にとって必要な活動だと感じた。	73	70	3	0	6	152



問8 今後も学校支援ボランティアを続けていきたいと思いますか？

	回答	回答数	構成比
1	はい	126	82.9%
2	いいえ	3	2.0%
3	わからない	19	12.5%
	無回答	4	2.6%
	計	152	100.0%

- ・ 体調との相談になります。



問9 学校支援活動で印象に残る出来事がありましたらご記入ください。また、日頃感じることやご意見などがあればご記入ください。(自由記載)

(年代、活動歴)

- 黒石小にも昨年までいっていたのですが、今年、姉体小で再会し、楽しく学校に通っている様子を見ることができ、嬉しく思いました。
南小や真城小は1学級の人数が多く、教室が狭く感じ、家庭科の作業もまわりを気にしながら、順番待ちをしながらだったので、1学級の人数が20～25人くらいだと、学習の効率がよくなると感じました。担任の先生の負担もかなりちがうと思います。
ミシンの調子が大規模校だと最後の方はかなり調子が悪くなりました。昨年、図工の授業でのこぎりにも感じましたが、技術系の道具の調子を整えるのも先生方がやるのは大変で、その部分をボランティアや専門の方に見てもらえるといいのではないかと感じました。
- 校内環境整備、校外活動の引率、学校行事の補助等、従来はPTAの活動としてやっていたこともある。PTAの協力が不足し地域ボランティアに頼っているのは、頼らざるを得ないのはなぜか。
学校が荒れ、授業の見守りにボランティアを要請する状況、気軽に頼めるからなのか、本来なら行政が対処すべきことではないか。子どもたちの教育を受ける権利を無視し学校まかせにする行政の態度に憤りを感じている。
このアンケートも同様、何かはき違えているのでは。どのような考えでもってアンケートを実施し、どう生かしているのかが伝わらない。学校、教員等のボランティア支援への対応もどうかと思うことがあった。学校が手が足りず大変なのはわかる。でも、それを補うことがボランティアなのか。
- 子どもたちの成長過程で心の病を抱え込んだ子どもから「おもしろかったよ。またきてね」という言葉かけをしてもらったこと。(70代以上、5年以上)
- もう大分年をとっているし、一人暮らしで孫もいませんので子どもさんと触れ合う機会もありません。そんな中で小中学校を訪ねて今の子どもさんのありかたを垣間見られる貴重なときです。
何年か小学校で福島原発の事故を扱った絵本を読みましたが、年がたつにつれて、単なる歴史で身近なものを受け取れない子どもたちになって、あまり関心を引かないように感じられてその絵本は止めています。難しいものだと思います。
- 子どもたちがのびのびと活動できるようでありたい。最低限のマナー(あいさつ程度)を守れるようであれば自由に発言したり、気持ちを解放させてほしい。(先生からの生徒に対してしつとりや威圧的なものを感じることもある)
子どもたちの生き生きとした姿にこちらが癒されます。今後とも楽しみにして参加させてください。よろしくお願いします。(60代、5年以上)
- 校外に比べると校内での挨拶してくれる生徒(児童)が多いと感じました。
授業終了後、直接「ありがとうございました」と言いに来てくれた生徒さんがいてとても嬉しかったです。(70代以上、5年以上)
- 個人的に支援が必要な子どもの多さ。(60代、2年間)
- 気持ちよく挨拶してくれる子がいると、とてもうれしく感じますが、時流的に「知らない人には声をかけない」ことも理解しておこうと思っています。
授業中にきちんと座っていない子は仕方ないと思いますが、他の子にちょっかいを出すことはボランティアが注意すべきではないのかな、と思い複雑な気持ちになりました。
60代半ばで体力的にきつくなってきました。まだまだの年齢ですが、あと少しで引退したいと思っています。
少子化の時代、子育てを親、学校任せにだけすることなく、広くボランティアを募って「みんなで育てる」を目標に掲げるべきだと思います。
- 最近の災害は身近に感じられるこの頃に子どもたちの体験することが多いことを感じて。
災害時のトイレづくり、食に関しての具体的な知識等、どうすれば一時的にしのがるか！を、また何ができるかを聞き、その中で一つずつ解決してみたいと思っています。私たち大人は知ってても、子どもたちは体験してみないと…など。
一緒にやりたいこと、ボランティアの精神と自分を大切にすることを一緒に学びたいです。(70代以上、5年以上)

- 今年度は読み聞かせタイムが午後1時頃となったことで仕事と重なるようになり数回し（60代、2年間）
か活動できなかったことが残念です。
微力ですが、今後でもできるところで教力していきたいと思います。地域の宝の「子どもたち」健やかな成長を願い応援していきたいです。
- 調理は包丁や火を使う危険な物をつかうので火の取扱い、包丁の扱い等、また食器の取扱い学習するものがあります。実技が伴うのに教師に補助する人は必要だと思います。（70代以上、1年未満）
- SNSが子どもに影響を与える力を目の当たりにした今日この頃です。もっと本を読む機会を作り、創造力、想像力を養う必要があると思いました。
また、マラソン大会を見て、すぐあきらめてしまう姿勢が残念だなと感じました。足を止めてしまう子がここ数年より多くなっている。まだ余力はあっても…
時代の変化はどうしても止められないところはありますが、コロナ禍も落ち着き、また大変な中でも子どもたちと本気で取り組める学校の活動に期待し、微力ながら何かお手伝いできればと思っています。（40代、3年間）
- 過日、道路で下校の児童3人と会った際、「おかえりなさい」と声をかけると「あ！ボランティアさんだ」とあいさつされた。大変うれしかったです。
ボランティアの頻度は少ないのだが、地域で学校、児童を大切に支援しようとしていることを知ってもらえることは大切なのではないかと感じている。（60代、2年間）
- ミシンなど故障しているのが多い。（70代以上、5年以上）
部品、針など予備品がない（用意していない）
- 一緒に仲間との会話が楽しいので、できれば続けたいと思います。（70代以上、5年以上）
- 平日以外の活動があればいいかと。（60代、1年未満）
人と人とのふれあいの行事を望みます。
- 地域にとって子どもたちは宝物なので健康が続く限り、見守りを続けたいと思います。（70代以上、5年以上）
- 校内での取り組み状況を知ったり、コーディネーターから学校の様子や連日の授業補助のとき前日の様子などを聞けるのが良い。（情報知ることができる）（60代、5年以上）
- パーツを準備して工作してもらおうとき、毎回多くの子どもたちが参加してくれる。できた作品を見せてくれます。読み聞かせも楽しんでくれていると思います。時々参加型にぎやかになることもあります。（60代、5年以上）
- ボランティアコーディネーターの岩淵美樹さんに誘われて初めて参加させていただきました。コーディネーターの行動力に敬意を表したいと思います。このような方が市内に存在することは大変ありがたいです。教育現場にとっても地域社会においても貴重な人材です。益々のご活躍を期待します。（70代以上、1年未満）
- 6年生対象に読み聞かせをしたある日。内容は実話をもとにした絵本です。社会科の授業で「様々な職業の人のお話を聞く」という講演会で、助産師である内田美智子さんが順番を待っていると「おっちゃんね…」と静かに語りかける坂本義喜さんに出会いました。話に引き込まれ、この話はたくさん子どもたちに伝えたいと出版社にお願いして絵本になりました。
読み聞かせをしている内に、自分も話に引き込まれ、泣き声になってしまいました。担任の先生もハンカチで目頭を押さえておりました。子どもたちの様子はというと、静かに聞いておりましたが表情まではよくわかりませんでした。本を通して人間性、感情性豊かな人になってほしいと願います。機会がありましたら皆さんも読んでみてください。（「いのちをいただく」原案：坂本義喜、作：内田美智子、絵：魚戸おさむとゆかいなななたち）（60代、5年以上）

- 本の読み聞かせ活動は大切なことだと思ってやってきました。「本離れ」が進んできて (70代以上、5年以上)
いる中で、奥州市では指定を受けて始まった様に記憶しています。指定が終わった後
も市ではこの活動を継続し、今まで市主導でやっています。とても素晴らしいことだと思
っています。4か月児へのブックスタートから中高生への読み聞かせ講座まで私は
関わらせてもらっています。この奥州市の取組は他に例があるでしょうか？次代を任っ
ていく子どもたちの育成ですよね。これからも続けてほしいものだと願います。
地域とともに子どもたちを育てる。学校側としては地域を巻き込んだ教育活動には大
変なことたくさんあると思いますが、その効果も大いにあるものと信じます。お互いに
関心を持ち合いながら、教育効果を高めていくようにできればよい子どもたちが育っ
ていくのではないのでしょうか。
- コーディネーターさんの御苦労に感謝しています。 (60代、5年以上)
- ボランティアに参加する人、できる人は少なく感じます。祖父、祖母、地域の方(年配) (40代、3年間)
にも協力してもらうことで、子どもたちの見守り、参加した方々の生きがいや元気に
つながると思います。共働きが多い中、ボランティアに対する関心は少ないような気がし
ます。年配の方の、心も体も元気にする取り組みとして発信していただければと思いま
す。
- 5年生の稲刈り体験で稲を束ねるボランティアをしました。実家で少しですが田んぼ (40代、1年未満)
をしています。その経験が稲を束ねるのに活かすことができてよかったです。やは
り、その時のボランティアは年配の方が多く若い人がJAの方々だけだったので、少
しでもお役に立てればと思い、お手伝いしました。
子どもは5年生ですが、昨年のことを思うと続けられればこれからもお手伝いをしてい
こうと思います。その他ののは休日と合えばお手伝いしていきたいと思っています。
昨年からのボランティアですが、できるときにお手伝いできればと思っています。
- ボランティアとして携わっている者が言うべきことかは疑問であるが、低学年はもっと (70代以上、1年未満)
もっと少人数学級が好ましく思う。保育園等の年長組は、担任1人に幼児10人程度と
思うが、1年生といっても遅生まれは一年近くも遅いのであるので、しっかり細かな指導
が必要と思う。
- 読み聞かせでは熱心に聞いている子どもたちの姿がとてうれしかった。 (60代、2年間)
家庭科のミシン学習では、子ども一人一人をしっかりとみることができ、子どもがだ
んだん自信をもってミシンを使うことができる姿があり、やりがいを感じた。
担任教師がボランティアの私たちを大切に、頼りにしてくれるので、子どもたちも安心
して頼ってくれた。
支援のコーディネーターさんがこまめに連絡をくださることで安心して活動に参加で
きた。
- とても貴重な体験ありがとうございました。 (40代、1年未満)
来年度も参加したいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- 読み聞かせをしていて、時間がオーバーしたが、本がもう一冊準備してあった。その日 (40代、5年以上)
の子どもたちはノリがよく、読んであげたいが…と先生をうかがうと、先生の方からアン
コールの声がかかった(内心意外だった)。授業の時間を少し削ってしまて申し訳な
かったが、全員が楽しく早い時間だった。先生も声を出して笑って聞いてくれた。この
時間があったから、来年度も続けようと思えた出来事だった。
何年生でも、本は心の栄養なのだと感じた。この読み聞かせの時間の先生方の違い
(一緒に聞く先生、プリントの丸つけを始める先生、教室を出ていく先生、外を眺める先
生等)にクラスの色が出ていと感じることがある。
- 本の読み聞かせや主任児童委員などで学校に出向く機会があるので、小学校や子ど (60代、5年以上)
もたちの様子も少しは理解している。一方何の役もない方たちは学校に行く機会もな
く、学校が遠い存在に思っているようです。
気軽に学校に行けるイベントや行事を考えていただけたらもう少し地域の方たちが学
校に協力できるきっかけが作れると思います。地域の方たちの中にはもっとたくさんの
力を持っている人がいるはずですので、発掘の方法を考えてください。
- 学校活動外でも遠くから「○○さ〜ん」と声をかけてくれる子どもたち。支援活動してよ (70代以上、5年以上)
かったと思える一場面です。うれしいですね！！

- 子どもたちとのふれあいは楽しいところもあるが、一部の子に(顔見知り)もう来なくて (60代、1年未満)
もいいです…と言われたこともある(本心かどうか?)

- ボランティア活動時以外で、来校したときに「あ！ボランティアの人だ！こんにちは！！」と声をかけてくれる児童が年々増えてうれしいです。 (40代、4年間)
何年経ても「先生」と呼ばれるときにとまどっています。名前(苗字)にさん付けで呼んでもらえるように伝えていいのか…他の皆様はいかがされているのでしょうか？

- 町内会のおまつりでお世話した子どもたちが学校ボランティアで校内で会うと必ず声を (60代、4年間)
かけてくれて元気に挨拶してくれます。ボランティアに行くたびにこちらが元気をもらって嬉しく、感激しています。私も元気に答えます(笑顔で)
子どもたちは大人の言動をよくみています。子どもたちの幸せ日々は大人の責任だとつくづく思います。学校ボランティアのコーディネーターさん、先生方には学校支援活動へのお誘いに感謝しています。ありがとうございます。

- 先生方々から、ご苦勞様ですとよく声をかけられ、一分でも子どもたちを見ていただくと (70代以上、5年以上)
本当にありがたいとのこと。(本当にありがとうございます。)との声をいただきました。
私にとっても、力になる言葉をいただき、これからは頑張ろうと思いました。先生の声掛け、ありがたかった。これからも協力いたします。

- ミシンや調理実習補助のとき、先生が生徒さんに事前に手順等を伝えていてくれるので補助しやすかった。生徒の皆さんも進んで熱心に作業する姿に感心した。 (70代以上、5年以上)
学校支援活動に参加する方々が増えるといいのですが…
私は、下校時の見守り活動にも参加していますが、若い方に参加してもらいたい。我が地区では75歳以上の方々が頑張っています。子どもたちの安全を見守りたいのですが、80歳過ぎると少しきつい。

- いつもお世話になっております。子どもたちの学校での様子が見られ、励みになってい (40代、5年以上)
ます。今後ともよろしく願いいたします。

- 私は車の運転免許を返納しました(高齢のため)。以来、私の読み聞かせの当番の時 (70代以上、5年以上)
はコーディネーターの方が迎えに来てくださいます。ありがたいことに、回数は少ないですが、ボランティアを続けることができています。私の生きがいにもなっています。

- 老化に伴う体力の衰えや動作の鈍化等から、子どもたちの安全が守れないと思い、一 (70代以上、5年以上)
線から身を引いています。用事で学校に伺ったところ、「あ、〇〇さんしばらく！今度いつ来るの」と嬉しい声をかけられ感激しました。(顔見知り、顔見知られの大切さ)
少子化で学校の統合等が進んでいますが、子どもを育てるのが学校とともに地域ぐるみで取り組むことが重要と思います。
ウチの子はウチの子、トナリの子もウチの子。子どもは地域の宝物。

- 私がボランティア活動始めたころと今の活動は少しずつ変わりつつあります。それは学 (70代以上、5年以上)
校の必要性なののでしょうか？

- 高齢になってきているので降りたいと思います。 (70代以上、3年間)

- 自分の子どものクラスメイトや他学年の生徒との距離感が近くなった。学校の(ボラン (30代、2年間)
ティアで参加するうちに)雰囲気がわかってきた。
学校にも自分にも良いことだと思うので、時間が取れるときはなるべく参加していきたいと思っています。

- 本の読み聞かせにも興味がありますが、本を読むときに気を付けるポイントがわから (60代、2年間)
ない(声の大きさ、速さ、姿勢など)、朝はなかなか時間を作れないなどの理由でチャレンジできていません。
家庭科で糸の玉結びができない子が大多数だった。包丁の使い方も個人差が大きかった。小・中・高と続けて生活力を身に着けることが必要ではないかと。老婆心…

- ボランティアを始めて1年になっていませんが、学校の雰囲気、先生方の変さがわかるようになりました。そのため、少しでも何らかの力になればと思っています。先生方に感謝です。 (60代、1年未満)
- 先生方が子どもたちの指導に集中できるよう、また子どもたちがのびのび活動できるようボランティアは今後も大切なものなのだと思います。
他のボランティアさんとの交流や、先生方が懸命に日々ご指導してくださっていることを知ったり、子どもたちからの感謝の言葉など、やりがいもあります。
ただ、日中の活動が多く、仕事をしていると中々参加が難しく、回数が少なくなりがちで申し訳ないです。自宅に持ち帰ってできるボランティアもあると参加しやすくなるかと思っています。(運動会の小道具づくりなど) (40代、3年間)
- 支援学級の子どもが普通学級に混ざって読み聞かせに参加した後、自分の教室に戻るとき、感想を言ってくれるのがうれしい。 (60代、5年以上)
- テストの採点をしたが、採点をしながら子どもたちの理解の状況や程度がよく分かった。このことは先生方も把握すべきことだと思った。採点に要する時間を軽減しながら児童の学習状況、理解度もしっかり把握できるとよいと思いました。 (60代、1年未満)
- スクールバスの運転手さんに乗降の際に元気に挨拶するよう指導しています。あたりまえのことですが、お互い気持ちがいいと思います。(おはようございます、さようなら、ありがとうございました) (70代以上、5年以上)
- 統合したことにより、子どもたちの地域でのつながりが薄く感じるので、地元で子どもたちの関わりを持つ行事を開催できればと思っています。よろしくお願いいたします。 (60代、5年以上)
- いつもありがとうございます。微力ながら、奥州市のお子さんたちの読書活動に関わることができて嬉しく思います。
研修会についてですが、可能でしたらオンラインまたは講師の方のお話の部分をアーカイブなどで視聴できるとありがたいなと思います。 (40代、5年以上)
- 児童が授業に不特定の人が入るという状況に慣れていると感じました。多数の人が授業に関わることで、児童個々人に目と指導が行き届くと感じています。 (70代以上、2年間)
- ミシン製作の補助では、子どもたちがだんだん上手に操作するようになり、自信を持って楽しむ様子が見られ嬉しかったです。
本の読み聞かせでは、じっと聞いてくれたり、問いかけをするとすぐ反応があったり、いつも楽しいです。限られた時間の中ですが、子どもたちが喜んでくれるといいなあと感じています。できればもっと回数が増えるといいなと感じています。
子どもたちが安全に過ごすためにも日頃から地域の方たちの見守り、声掛けなどが必要だと感じています。 (60代、5年以上)
- 読み聞かせももっともっと大切にしてほしい。
昔話(TVなど身近なところに昔話があった頃はとてもシンプルに道徳心が育まれていたように思います)などで自然に身についた道徳心などを絵本の力で自然に心を耕して身につけてくれたら…と思っています。 (40代、4年間)
- 学校現場でのボランティア活動の必要性・有効性を強く感じています。私自身の健康生活もあるので、「できるときに」「できることを」という意識をもって少しでもいいので取り組んでいければいいなと思っています。 (60代、1年未満)
- 活発な児童たちに先生の大変さを感じています。 (70代以上、5年以上)

- 統合前の小学校から読み聞かせのボランティアの活動をして、休んだ時期もありましたが15年くらいになります。自分自身の楽しみもあり、また、児童の皆さんにとって教職員の皆さんだけではなく、他の人にもふれあうことも大切なことかなと勝手に思い、今まで続けてきました。
 昨年、自分自身の誕生日の翌日に読み聞かせに伺い、昨日は78歳の誕生日だったと言ったら、担任の先生が音頭を取ってくださり、子どもたちがハッピーバースデーの歌を歌って祝ってくださいました。78年間の誕生日で一番うれしい出来事でした。
 勉強ばかりでなく、相手を思いやる心も育ててくださった担任の先生、子どもたちにも感動しました。教育がどのように変わっていくのか不安な(年寄りにとっては)状況のこの頃ですが、人として生きていくことは人間としての人間らしい人格が必要なことだと思うのは年寄りの私だけなのでしょうか。AIが発達しても、それを扱うのは人間。人間としての生き方ができないのなら、犬や猫と同じ動物になります。
 また、問題のある子を注意するときに、その出来事だけを捉えるのではなく、登校前の家庭の状況など、その原因を深く見て、注意、指導をすることも大切なことだと思います。
 先生方の負担も大変なことと思います。どうぞお体を大事になさってお励み下さい。ボランティアとしてできることならできる範囲で先生方や子どもたちの一助になればと思っています。このような形で子どもたちとかかわりを持たせていただいたことに感謝です。
- まち探検の引率で、楽しくなって手をつないでくる子供がいたり、友達のように接してこられるので注意も難しく、授業妨害になってはいないかと困る場面がありました。
 子どもたちの安全のため、ボランティアで見守るということは大変良いと感じました。反面、保護者という自分の立場で考えたとき、先生や子どもたちが監視されているように感じられたとしたら、直接的な保護者がボランティアとして入るべきではないのではないかと感じました。
- 微力ながら協力していきたいと思います。 (70代以上、2年間)
- 念願叶ってこの地域の民話「阿久戸のカッパ」を小学校(佐倉河小、常盤小)で伝える機会をいただきました。全学年が一堂に会して、しかもすべて方言での語りです。(絵はスクリーン活用)。果たしてどれだけ子どもたちの心に届けられるか…。気がかりでもあり、楽しみでもあり。「ボクたちとこの話だあ～」とささやき合う声。徐々に食いついてくる様子に手ごたえを感じつつ、民話の世界へ誘う挑戦でした。集中力、そして感受性豊かな素晴らしい子どもたちにたくさんの感動をいただきました。
 その後、スーパーや子どもたちの居場所でお会った2人の子、笑顔でちっちゃく手を振ってくれ、「あっ、お話の人だあ」と。これも嬉しい出会いでした。
- 家庭科の裁縫の支援に入りましたが、クラスの数が多いと担任の先生だけでは大変ですので、やはりボランティアの方がいるとわからない生徒さんに援助できるので、子どもたちも安心して授業できるのかなと感じました。
 (基本の玉むすび、玉止めも慣れてくるとできる子もいますが、なかなか難しい子もいるようです)
- 授業についていけない児童・生徒への支援がもっと必要だと感じました。しかし、授業に入ることで先生によっては授業批判されると感じる、またはボランティア対応へのわずらわしさを感じたりするということもあるのではないのでしょうか。お互いに「協力して、児童・生徒のために」という確認が必要かと思いました。先生方の負担にならないように、協力させていただきたいと思っています。
- ボランティア活動をやりたいが、時間を割いているので、報酬は多少あったほうが良い気がします。
- 先日のレクリエーションで全学年の子供達を見れ、先生方も日々指導大変だろうなと思いました。
- 小学生の絵本の読み聞かせでは、皆さんきちんと挨拶してくれ静かに聞いてくれました。
 中学生(女子は)接し方の勉強になりました。

- 「○○くんのお母さんだ！」
と何人にも声をかけてもらい、親も子どもたちと顔見知りになると、子ども同士も人間関係が築きやすいのかなあと感じます。
・丸つけは、空いた時間に(前日などでも)簡単に申込できるようになると参加しやすいです。募集する日時をLINEや「調整くん」などでスケジュール形式でみられるようにするなどはどうでしょうか。(協力したいのですが、先の予定がたつずなかなか参加できずにいます)
・授業参観では見られない子どもたちの普段の様子がえられる貴重な時間となっています。
・登下校の見守りについて
ボランティアでは荷が重いし安全に関わることなので、学校敷地や通学路に専用の有償の職員(スクールバスの運転手のように)を配置した方がいいと思います。市が子どものための予算確保に努力することであって、ボランティアを募るのはちよっと違うと思います。
前小では毎日千葉健示先生が1人で駐車場で児童のために立って見守りしてくれています。ありがたいですが負担が心配です。(40代、2年間)

- 前沢小学校の読書祭りで公演した舞台で10年間で1番子供たちの反応が賑やかで楽しそうで良かったです。ボランティアに参加できるのは年に数回しかありませんが続けていきたいと思っています。(30代、5年以上)

- 一生懸命活動している子どもたちの様子をみられてこちらが元気をもらっています。
子どもたちの出来ているところも出来ていなくてももう少し頑張れというところも見られます。学年や学級の様子をみることが出来るので、保護者としてもどういう環境に子どもがいて、どういう風に取り組んで欲しいのか向き合えるのでとても良い活動です。
岩淵コーディネーターが先生にもボランティアにも非常に気を遣って頑張ってくださいています。出来る限り協力したいと思います。
先生、コーディネーター、ボランティアがみんなで協力して子どもを応援する体制が今後も続くと良いです。(30代、2年間)

- 絵本の読み聞かせを各学年担当し、学年ごとのまとまりや聞く姿勢などに違いがあり成長を感じることができた。見かけたら顔を覚えた子たちが声をかけてくれてまた来てねと言ってもらえてうれしいです。(40代、2年間)

- 児童の保護者です。自分自身は体調などでスポット的にしか協力できないが、毎日の登下校見守り活動をされているかたには感謝している。
また、先生が30人以上の児童をみるのは、とても大変だと思う。支援員の確保など、予算をつけしっかりやっただうえで、ボランティア参加も増えていけばいいと思う。(30代、1年未満)

- 本の読み聞かせに関して、小中学校のどちらも経験しましたが中学校での読み聞かせは必要性をあまり感じませんでした。
また、活動の中で子ども達と直接触れ合うことは授業以外ありません。日頃のボランティア活動の中でもっと触れ合う時間を持つ活動をしていきたいと思いました。(40代、3年間)

- 長年読み聞かせをしています。ボランティア活動にご理解いただいている担当の先生には感謝しきりです。今はお菓子やフレーパーティーが用意されていて、活動後に皆でいただきながら今日の様子を話し合うことができ、毎回気持ち良く活動できています。過去にはボランティアを煙たがる先生もいらっしたので、今こうして安心して活動出来る幸せを大切にしたいと思っています。(40代、5年以上)

- ・時間になってもすぐ始まらないこと。担任の状況に合わせなければならない。
・他室で作業が終わって教室に持っていくと、担任が不在で顔を出さないこと。よって、担任からの感謝の言葉がない場合があった。
・こちらから「では終わりましたので、帰ります」と言わないと、担任が礼を言わないこと。これは同じ担任で、やって当たり前、もしくは別に頼んでいないのにという感じが伝わり、不快に感じたことがあった。これは、学校の支援ボランティアに対する認識の共有がなされていないことと感じた。
・時間指定で来ているのに、始まりが遅いこととやりきるためには時間を延長しなければならないこと。2日あまり時間延長をしました。
・作業の教室が決まっているのに、突然そこに登校班長指導が入り戸惑った。普通、ボランティアをしているならば、他の部屋でやと思うのだが、同じ部屋で行った。それでいいのか疑問に思った。
・お手伝いとは言え本気でやっているの、学校側もやってもらってありがたいと我々に伝わり、やる気につながるような配慮が必要だと感じた。(60代、1年未満)

- 次回指名をもらった(60代、2年間)

令和6年度

学校支援地域本部事業に関する調査

【対象：事業実施校(教員)】

集計結果

調査期間：令和7年1月23(木)から2月21日(金)まで
調査対象：事業実施校25校(校長、副校長、担当教諭を
含む3名以上の回答を依頼)
アンケート提出者：79名

問1 当事業について、率直な感想をお聞きます。

	回 答	回答数	割合
1	助かっている	71	89.9%
2	どちらかといえば助かっている	5	6.3%
3	どちらかといえば負担になっている	3	3.8%
4	負担になっている	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	79	100.0%

問2 問1で「助かっている」または「どちらかといえば助かっている」を選んだ方について、どのような支援が助かっていますか。【複数回答可】

	回 答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ等	58	20.4%
2	校内の環境整備、装飾	47	16.5%
3	ペープサートの上演	12	4.2%
4	本の修繕、整理	34	12.0%
5	校外活動の引率	24	8.5%
6	登下校の安全確保・見守り	20	7.0%
7	授業の補助	61	21.5%
8	学校行事の補助	24	8.5%
9	その他	4	1.4%
	無回答	0	0.0%
	計	284	100.0%

回答者数

76名

7 授業の補助の内訳

- ☐ 家庭科支援(ミシン、裁縫、調理実習等) (16件)
- ☐ 習字の学習支援 (5件)
- ☐ 総合的な学習 (5件)
- ☐ 木工工作補助 (4件)
- ☐ 生活科 (4件)
- ☐ 地域人材の活用におけるコーディネート

10 その他の内訳

- ☐ マラソン大会
- ☐ 職場体験の企業との連絡調整

問3 問1で「どちらかといえば負担になっている」「負担になっている」を選んだ方について、その理由をご記入ください。

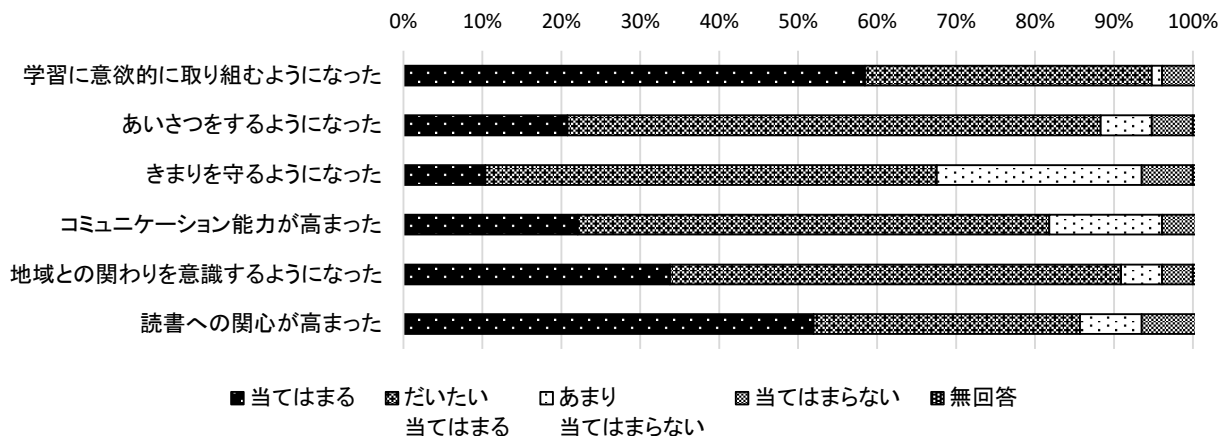
- ☐ 本校活用してないが、本部校として書類を求められる。
- ☐ 本校が今年度は活用していないため、上の選択肢ではこのような答えになる。
- ☐ 活用していません。

問4 当事業を行うことにより、それぞれにどのような効果がみられましたか？最も近いものを選んでください。

(1) 児童・生徒に対する効果

	項 目	当てはまる	だいたい 当てはまる	あまり 当てはまらない	当てはまらない	無回答
1	学習に意欲的に取り組むようになった	45	28	1	4	1
2	あいさつをするようになった	16	52	5	4	2
3	きまりを守るようになった	8	44	20	5	2
4	コミュニケーション能力が高まった	17	46	11	4	1
5	地域との関わりを意識するようになった	26	44	4	3	2
6	読書への関心が高まった	40	26	6	6	1

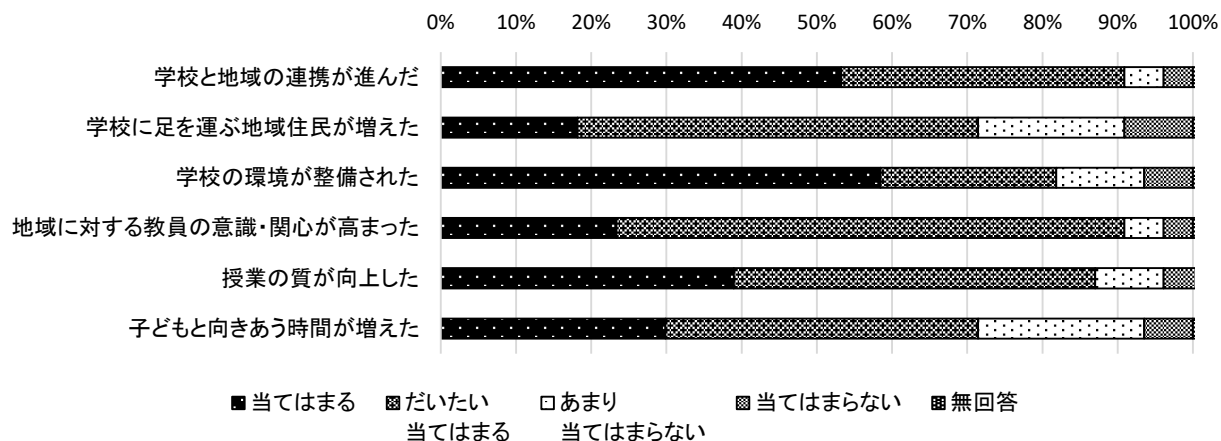
回答者数 79名



(2) 学校・教員に対する効果

	項 目	当てはまる	だいたい 当てはまる	あまり 当てはまらない	当てはまらない	無回答
1	学校と地域の連携が進んだ	41	29	4	3	2
2	学校に足を運ぶ地域住民が増えた	14	41	15	7	2
3	学校の環境が整備された	45	18	9	5	2
4	地域に対する教員の意識・関心が高まった	18	52	4	3	2
5	授業の質が向上した	30	37	7	4	1
6	子どもと向きあう時間が増えた	23	32	17	5	1

回答者数 79名



問5 今後、どのような支援が必要ですか？【複数回答】

	回 答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ等	48	15.3%
2	校内の環境整備、装飾	30	9.6%
3	ペープサートの上演	4	1.3%
4	本の修繕、整理	33	10.5%
5	校外活動の引率	34	10.9%
6	登下校の安全確保・見守り	38	12.1%
7	授業の補助	54	17.3%
8	学校行事の補助	41	13.1%
9	その他	30	9.6%
	無回答	1	0.3%
	計	313	100.0%

回答者数

79名

7 授業の補助の内訳

- 家庭科支援(ミシン、裁縫、調理実習等) (19件)
- 習字の学習支援 (6件)
- 図工・技術補助 (5件)
- 生活科 (3件)
- 音楽・合唱指導 (4件)
- 職場体験学習
- 郊外学習の指導や生徒の学習支援
- 実技教科の学習の補助
- 学習についていけない生徒の学習支援
- 体力テスト支援、丸付け支援、授業見守り支援
- 授業中の声がけや作成補助、プリントドリル類の丸付け。
- 体育などの実技教科
- 授業中の個別の学習支援、実技教科の作業の支援
- 生徒活動の見守り、校内巡視
- 体育準備 算数 理科実験準備
- 理科
- 1年入門期の支援、特別な支援を要する児童の支援
- 給食指導の導入期の補助

10 その他の内訳

- 職場体験学習実施に向けた事業所等への依頼
- 和太鼓クラブの指導をしてもらえないか
- 木材加工以外での実習(調理とか裁縫、ミシンとか)
- 特別な支援を要する児童の支援
- 特別な支援を要する子どもの支援
- 地域との連携窓口
- 1年生給食支援、清掃支援
- 例えば夏季休業中のプール監視員や冬季の通学路の除雪などを支援していただきたい
- 地域資源(人材)の紹介
- 休み時間の児童の遊び支援

問6 学校支援ボランティアと子どもたちが関わる場面で印象に残る出来事がありましたらご記入ください。また、日頃感じていること、ご意見等がありましたらご記入ください。

【小学校】

- 持久走記録会の際、各ポイントに立っていただき、児童の安全確保をお願いした際、走っている子どもたちに温かい声援を送っていただいたことで、最後まで走ることができた。
家庭科のナップザック作りやエプロン作りでミシンの操作を指導していただいたり、助言したりしていただき、児童が安心して学習することができた。
校外学習の引率や交通安全教室、1学年の下校指導など、児童の安全を確保することができ、本当に助かっています。ありがとうございます。
- 地域コーディネーターの活動により、地域理解や地域と関わる学びが効果的に推進されている。学校農園の整備や稲作体験などを通じて、地域の大人との交流から子どもたちが学び、感じ取るものは多い。また、地域で活躍されている方々を紹介していただき、貴重なお話を聞くことができるのは、子どものみならず、教職員にとっても大きな学びとなると実感している。
- 田畑の学習の準備やご指導をいただき、収穫祭まで年間を通して支援していただいています。また、ゲストティーチャー等の声がけなどもしていただけるので大変ありがたいです。
- 他校から一年生の給食準備などにボランティアさんが入っているという情報を耳にしたが、児童の安心安全を管理するという意味ではどうかなとも思う。どこからどこまで依頼してよいのか迷うこともあります。
働き方改革ともバランスを取りつつ、お互いが無理なくできるところを見つけていきたい。
- 児童は毎週金曜日の読み聞かせの活動を楽しみにしている。読み聞かせボランティアのみなさんは子どもたちのために面白い本を選んでくださっています。昼休みに読み聞かせの本やその続きの本を探している児童もいます。
- 様々な活動で支援していただきとても助かっています。1年生と楽しそうにリースを作ったり、マラソン大会のコース整備、監察に当たっていただいたり…と子どもたちとのふれあい、温かい声がけをしてくださっていたことが印象に残っています。
- 家庭科の裁縫実習では、得意ではない児童への支援がとても優しく、褒めていただいているので、学級全体がとても良い雰囲気の中で学習に取り組むことができました。また、経験の浅い教員にとっては、ボランティア様の支援が授業の質の向上にも直結しており、非常に大きな存在となっております。
- 実習において、児童が困っているときに教師一人ではなかなか目が届かないところをボランティアの方がすぐ対応してくださり、児童がうれしそうにしている場面が心に残っている。
- 様々な児童がおり、失礼な言動の児童もいるが、温かく見守り、やさしく支援をしてくださるボランティアの皆さんばかり。本当にありがたく思っている。
- ミシン、習字など、子どもたちは初めての体験であり、授業者が一斉に指導しなければいけないなど、とてもてくてこまいになる。学習にボランティアさんが入ってくると本当にありがたい。多くの目で見てもらえる子どもたちもそちらに気を取られず指示に集中できる指導者にもどちらにも幸せである。
- 子どもたちと直接かかわる場面は少ないですが、季節に合った飾りをしていただき、楽しい環境づくりをしていただいています。
せっかく来ていただいているのに子どもたちと対面する場がないと思われるため、新学期に設定できるよう今後計画したいと思います。
- いつもすてきな装飾掲示をしていただき、心が和みます。今年度は、予備の装飾をいただき、低学年が活用させていただきました。ありがとうございました。
- 今年度は、水沢地域文化発表会の係もしていただき、大変助かりました。
- 読書集会でペーパーサートは、子どもたちがとても楽しみにしているので、今後もぜひ続けてほしい。

- 本の読み聞かせでは、子どもたちの興味をひくような本を選んだり、読み方を工夫したりして下さるので、子どもたちにとって、とても楽しみな時間となっている。
- 学習支援や読み聞かせ等の活動により、子どもが学習に集中して取り組んだり楽しくお話を聞いたりする様子を見ると、学校としては大変ありがたい。掲示等もお手伝いいただき、大変助かっている。
- 何回か顔を合わせるうちに、児童も気軽に声をかけるようになった。また、お礼の手紙の中に、「うまくいかないときも責めることなく優しく教えてくださいだったので、がんばることができた」と書いた児童もいた。突然のお願いになったときも、来てくださったり、私達教員にもアドバイスしてくださり、大変助かりました。ありがとうございました。
- 始めてミシンを使う5年生に、準備からミシンの指導まで個別に支援して頂き、スムーズに学習が進んだ。
- 担任や保護者ではない関係性の大人と関わることは子どもたちの成長、心理的な安心といった面でも大切だと感じています
- 子どもが安全に学習できるように補助していただき、ありがたいです。
- 読み聞かせでは、どの学年もお話に集中して聞いている。ミシンの実習では、子どもたちはボランティアさんの手際の良さに驚き、ボランティアさんに教わったとおりに真剣に取り組んでいた。
- ボランティアさんが児童と関わることで、学校外でも児童に挨拶をされるようになり、そのことがとても嬉しいとお話されていました。また、ボランティアさんに支援してもらうことで、授業がスムーズに進むなど大変助かりました。
- いっしょに活動することで、子どもたちの学習が向上することはもちろんだが、ボランティアの皆さんが子どもたちとの活動を喜んでくださっていることがわかり、嬉しい。
- 本当に助かっております。ボランティアさんのお力添えは学校運営に欠かせません。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
- 読み聞かせの時間には、児童が一生懸命に話を聞く姿が見られました。学年に応じて選書していただいているのもありがたく感じていました。日々のご協力に感謝しています。
- 1年生図工の授業で、制作を手伝ったボランティアさんお二人が「とても楽しかった」と話してくれました。子どもたちにとっても助かりましたが、ボランティアさんが楽しんでくださりありがたい限りです。
- 多くの方がボランティアに来ていただくことで、子どもたちが質問したり教えてもらえたりし、笑顔で授業を受けている場面が多い。
- ボランティアとして様々な形で学校に関わっていただいて感謝しています。地域と家庭と学校が子どもたちのために取り組んでいる他地区にない良い取り組みだと思います。
- 地域の人材に支えられて学びが豊かになっていることに大変感謝しております。今後とも継続的にご支援いただけるようお願いいたします。
- ・ミシンを使った家庭科の授業において、手先が器用でない児童も、ボランティアの方々が上手に対応してくださるので、途中で投げ出してしまうことなく集中して学習に取り組んでいた。
・ボランティアの皆さんが学校の状況を理解してくださり、柔軟に対応していただいているので、大変助かっている。
- 家庭科のミシン補助をしていただいていた時、針を指に刺す事故が起きたが、支援員さんがいたおかげで速やかな連携ができました。複数の目があることは、本当に助かります。
- 授業・行事など様々な場面で、支援をしていただき大変助かりました。今後とも連携していきたいです。
- 日頃から学校の教育活動に関心をもっており、積極的に関わっていただくことで教育活動の質が向上していると感じています。先生方の助けになっています。ぜひ、これからも学校支援ボランティア活動により多くの方に関わっていただけると助かります。

- 今年度からスクールバス利用の見学学習にも同行いただくようになり、大変助かっています。様々な動きをする児童への対応を、私達とは違った視点で見守っていただけること、子ども達と交流しながら活動していただけること等もあり、安心して活動できました。
- 子どもに寄り添いながら、さり気なく手助けをしてくださったり、安全への配慮をしてくださったりしています。
- 児童の様子をご覧になって、必要な支援を適切にいただき助かっている。手助けしすぎず、あとちょっとのところで手を差し伸べてくださるのが大変ありがたい。
- 子どもたちから大きな声で挨拶をしたり、感謝の気持ちを表したりするようにさせていきたいです。
- 学習指導の際、一人では全員を見きれない時にも授業に入っていただいてありがたかったです。これからもよろしくお願いいたします。
- コーディネーターとの確かな連携と有効活用
- ・学校支援ボランティアのみなさんの力をいただきたいと、地域コーディネーターさんに伝えると、たくさんのボランティアさんに声をかけ、いつも調整をくださるので、感謝している。
・今年度の図書まつりでは、地域に伝わる昔話を方言で読み聞かせしてくださった。子どもたちも、私達職員も、地域に思いを寄せる時間を過ごすことができた。
・特別な支援を要する児童に寄り添ってくださったお陰で、その子だけでなく、学級、担任の支えになっており、ありがたかった。
- 児童に寄り添った支援をいつもしていただき、感謝しております。
- ・毎月、階段の踊り場の壁面を飾っていただいています。壁面が変わると、「かわいいね」「すてきだね」と子どもたち同士で会話したり、ボランティアの方と楽しそうに会話をしたりして、楽しんでいる様子が見えます。また、読み聞かせをしていただいた本を図書室で興味を持って手に取る姿も見られました。
- 本の読み聞かせでは、いつも楽しい本を読み聞かせて下さり、ありがとうございます。
- ミシンボランティアをお願いしたところ、担任とボランティアと分担してミシンを調整したり、教材制作の手助けをしたりと、スムーズに行うことが出来、大変助かりました。
- 季節ごとに学校の掲示を変えていただき、学校の環境が明るいものになっている。楽しみにしている子どももいて、掲示を見る子どもの表情も微笑ましい。
- ボランティアの方々や校外でお会いしても挨拶がしっかりできているというお話をいただいている。このような活動があることで、子供たちにとっては地域での生活においても、安心感が高まっているように感じる。もちろん、校内での学習、生活においても、このような見守りをさせていただくことで、より多くの子に目を向けることができ、学習活動等充実させることができている。また、これからも、このような事業も含め、地域の担い手である子供たちとボランティアや地域の方との関わりを大切にしていければと思う。そのようなつながりを継続する中で、将来、この子供達が自分たちの地域の子供たちを温かく見守ることができるようになってくれればと思う。改めて、ボランティアの方々、そしてこのような活動を支えていただいている皆様に深く感謝しているところである。

【中学校】

- 学校として様々な支援を期待したいが、補助金が減額される状況では依頼しづらい。
- ボランティアの方の知り合いのお孫さんが支援する生徒であったことがわかると、ボランティア、生徒双方に“距離感”が縮まり、互いにいい笑顔、やりとりの中で作業が進められていたこと。
- 本部である前沢小学校が、本事業の会議を実施しないことにしたため、中学校教員が直接関係団体の代表等と関わる機会がなくなった。それでよいのか。
- プロの技（ノコギリ引きやかんながけ）を目にすることで意欲が高まった。
- 職場体験で生徒の事前集会で、お話をしていただいたが、いいお話をしていただきました。
- サポートをいただいた生徒が就学する前から関わってくださっている地元の方が学校支援ボランティアで来校いただいているので、生徒が安心して授業に臨むことができている。
- 生徒との関係が良好で、安心して学ぶことができている。
- 「学校が助かる」という観点に加え、「学校が地域に貢献」「生徒の郷土に対する愛着」などのねらいも加え、学校は助けられる受け身の存在からの脱却を図りたい。
- 読み聞かせは、中学校では必要性を感じない。生徒と関わる事業について、別な内容を提案していただけるとありがたい。
- 登下校時のヘルメット着用の呼びかけ等を繰り返し行っていたことで、正しく着用する生徒が増えたというお話を伺い、ありがたく感じています。
- 今年度、図書館での読み聞かせボランティア活動を行っていただきました。生徒には事前の予告なく行った活動だったので、話の聞き方など課題はありましたが、ボランティアの方からは、「子どもたちからの生のリアクションがあり楽しかった」とのご意見をいただきました。このような活動があると、地域と学校がより密接な関係が築けると感じました。現在、本校では一部の生徒が落ち着きがない状態が続いていますが、保護者や地域の皆さんが学校に来ていただけたおかげで、少しずつ正常化に近づいています。地域の中の学校としての存在感を高める意味でも、学校支援ボランティア活動は必要だと考えています。
- 校舎内の装飾、図書室の本の修理、事務的な面のお手伝い等もしていただけるとありがたいと感じています。

令和6年度

学校支援地域本部事業に関する調査

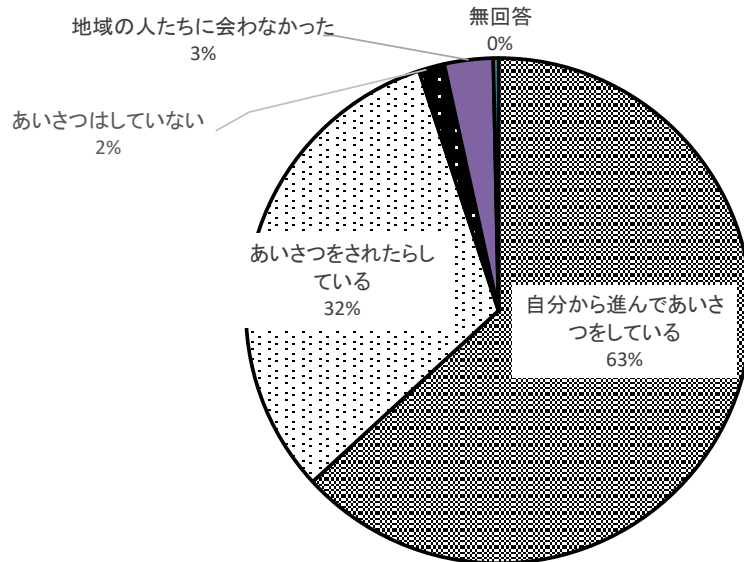
【対象：事業実施校(児童・生徒)】

集計結果

調査期間：令和7年1月23日(木)から2月21日(金)まで
調査対象：事業実施校25校(小学5年生、中学2年生を対象とし、各校1クラスに回答を依頼)
アンケート提出者：608名

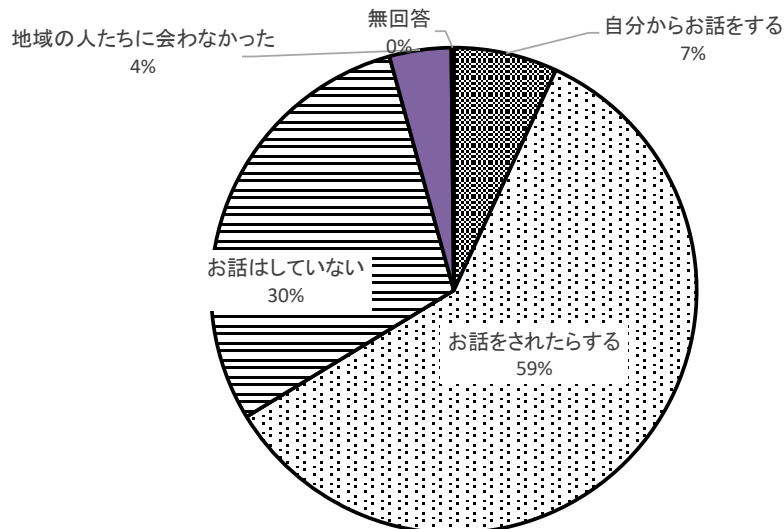
問1 学校内で地域の人たちにあいさつをしていますか？

回答	回答数	構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比	R2構成比
(1) 自分から進んであいさつをしている	384	63.2%	69.0%	72.3%	74.3%	77.5%
(2) あいさつをされたらしている	193	31.7%	26.3%	25.2%	24.5%	20.5%
(3) あいさつはしていない	10	1.6%	1.8%	2.3%	1.3%	2.0%
(4) 地域の人たちに会わなかった	19	3.1%	2.9%			
無回答	2	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
計	608	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		回答数	616	571	548	547



問2 地域の人たちに会った時にお話をしますか？

回答	回答数	構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比	R2構成比
(1) 自分からお話をする	42	6.9%	6.2%	7.9%	9.1%	9.3%
(2) お話をされたらする	361	59.4%	67.7%	74.6%	71.2%	77.2%
(3) お話はしていない	179	29.4%	22.6%	17.3%	19.7%	13.5%
(4) 地域の人たちに会わなかった	25	4.1%	3.6%			
無回答	1	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
計	608	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		回答数	616	571	548	547

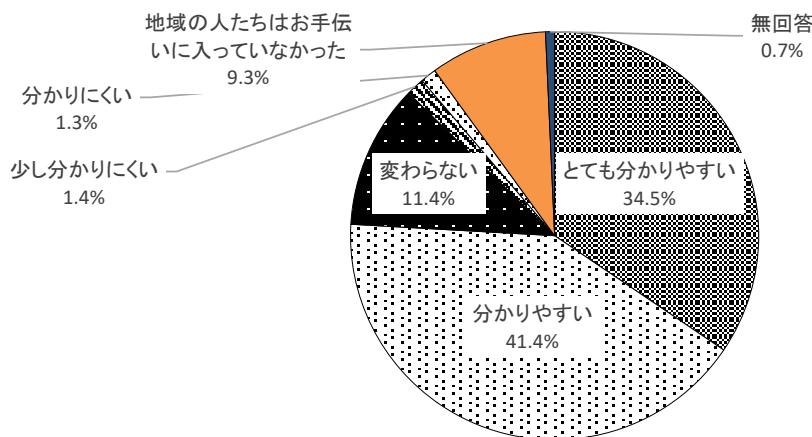


問3 地域の人たちがお手伝いに入ることによって授業は分かりやすいですか？

回答		R6授業補助実施校		R5	R4	R3	R2
		回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
(1)	とても分かりやすい	193	34.5%	32.6%	38.4%	54.5%	62.8%
(2)	分かりやすい	232	41.4%	37.0%	35.9%	36.4%	29.3%
(3)	変わらない	64	11.4%	13.3%	13.7%	7.6%	6.2%
(4)	少し分かりにくい	8	1.4%	1.1%	0.7%	0.7%	1.2%
(5)	分かりにくい	7	1.3%	0.8%	0.7%	0.7%	0.4%
(6)	地域の人たちはお手伝いに入っていないかった	52	9.3%	14.8%			
	無回答	4	0.7%	0.3%	10.7%	0.0%	0.0%
	計	560	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※授業補助23校で実施

水沢中、東水沢中、江刺一中、前沢中、胆沢中、衣川中、水沢小、水沢南小、常盤小、佐倉河小、真城小、姉体小、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、稲瀬小、江刺ひがし小、前沢小、胆沢第一小、南都田小、若柳小、衣川小、衣里小

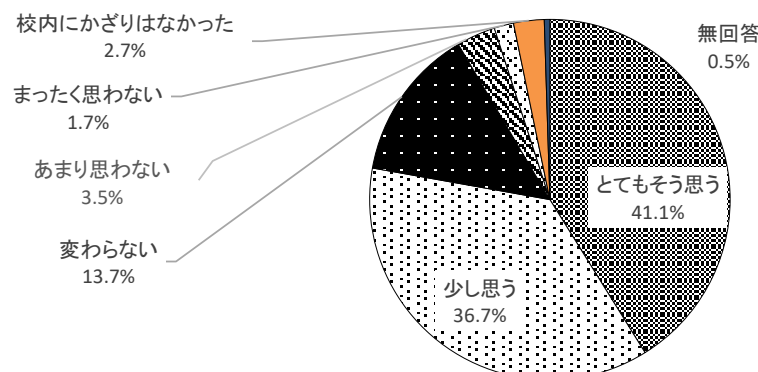


問4 校内にある飾りを見て楽しい気持ちになったり、学校が明るくなったと思いますか？

回答		R6校内装飾実施校		R5	R4	R3	R2
		回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
(1)	とてもそう思う	165	41.1%	24.1%	47.6%	44.2%	53.9%
(2)	少し思う	147	36.7%	33.8%	33.8%	37.1%	34.5%
(3)	変わらない	55	13.7%	15.1%	9.1%	14.1%	9.9%
(4)	あまり思わない	14	3.5%	4.9%	1.6%	2.5%	1.4%
(5)	まったく思わない	7	1.7%	2.9%	2.1%	2.1%	0.3%
(6)	校内にかざりはなかった	11	2.7%	3.1%			
	無回答	2	0.5%	3.4%	5.8%	0.0%	0.0%
	計	401	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※校内装飾17校で実施

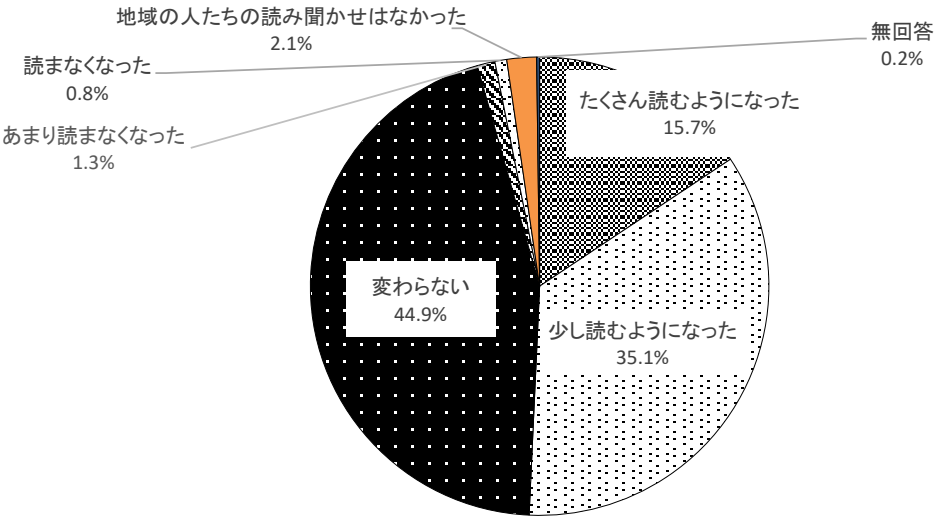
水沢中、江刺第一中、胆沢中、衣川中、水沢小、水沢南小、佐倉河小、真城小、姉体小、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、稲瀬小、江刺ひがし小、前沢小、胆沢第一小、南都田小



問5 地域の人たちの読み聞かせによって、本を読む量は変わりましたか？

回答		R6読み聞かせ実施校		R5	R4	R3	R2
		回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
(1)	たくさん読むようになった	75	15.7%	14.3%	14.9%	26.3%	28.9%
(2)	少し読むようになった	168	35.1%	28.6%	38.4%	33.6%	39.3%
(3)	変わらない	215	44.9%	47.6%	36.6%	38.8%	31.0%
(4)	あまり読まなくなった	6	1.3%	1.6%	0.4%	0.3%	0.4%
(5)	読まなくなった	4	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%	0.4%
(6)	地域の人たちの読み聞かせはなかった	10	2.1%	6.8%			
	無回答	1	0.2%	0.0%	9.1%	0.3%	0.0%
	計	479	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※読み聞かせ20校で実施
水沢中、江刺第一中、胆沢中、水沢小、水沢南小、常盤小、佐倉河小、真城小、姉体小、
羽田小、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、稲瀬小、江刺ひがし小、前沢小、胆沢第一小、南都田小、衣川小、衣里小



令和6年度奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿

NO	氏名	役職	備考
1	高 橋 勝	奥州市教育委員会教育長	委員長
2	高 橋 広 明	奥州市立水沢中学校長	委員（本部校長）
3	後 藤 康	奥州市立東水沢中学校長	委員（本部校長）
4	千 田 裕 子	奥州市立水沢南中学校長	委員（本部校長）
5	鈴 木 雅 孝	奥州市立江刺第一中学校長	委員（本部校長）
6	佐 藤 克 洋	奥州市立前沢小学校長	委員（本部校長）
7	菅 原 文 江	奥州市立胆沢中学校長	委員（本部校長）
8	八重畑 亘	奥州市立衣川中学校長	委員（本部校長）
9	及 川 孝	水沢地区町内会連絡協議会長（水沢中本部）	委員（振興会）
10	遠 藤 清 逸	常盤地区振興会会長（東水沢中本部）	委員（振興会）
11	千 葉 弘	南地区民生児童委員協議会長（水沢南中本部）	委員（自治会関係者）
12	千 葉 憲 雄	岩谷堂地区振興会会長（江刺第一中本部）	委員（振興会）
13	菊 地 盛 吉	古城地区振興会会長（前沢本部）	委員（振興会）
14	及 川 俊 和	小山地区振興会会長（胆沢中本部）	委員（振興会）
15	塚 本 康 雄	南股地区振興会会長（衣川中本部）	委員（振興会）
16	野 坂 晃 平	水沢中学校PTA会長（水沢中本部）	委員（PTA）
17	千 田 崇	奥州市立東水沢中学校PTA会長（東水沢中本部）	委員（PTA）
18	千 葉 康 行	水沢南中学校PTA副会長（水沢南中本部）	委員（PTA）
19	千 葉 大 輔	江刺第一中学校PTA副会長（江刺第一中本部）	委員（PTA）
20	本 平 哲 也	前沢小学校PTA副会長（前沢本部）	委員（PTA）
21	佐々木 淳	奥州市立胆沢中学校PTA副会長（胆沢中本部）	委員（PTA）
22	高 橋 勝 也	衣川小学校PTA会長（衣川中本部）	委員（PTA）
23	高 橋 育 子	地域コーディネーター（水沢中本部）	委員
24	田 村 恵美子	地域コーディネーター（東水沢中本部）	委員
25	菅 原 真 澄	地域コーディネーター（水沢南中本部）	委員
26	菊 地 喜久子	地域コーディネーター（江刺第一中本部）	委員
27	岩 淵 美 樹	地域コーディネーター（前沢本部）	委員
28	高 橋 加奈子	地域コーディネーター（胆沢中本部）	委員
29	石 川 隆 信	地域コーディネーター（衣川中本部）	委員
30	横 山 剛	地域コーディネーター（衣川中本部）	委員
31	酒 井 大 輔	県南教育事務所社会教育主事	アドバイザー
32	千 葉 達 也	奥州市協働まちづくり部長	事務局長
33	千 葉 学	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長	事務局員
34	吉 田 博 昭	奥州市教育委員会学校教育課長	事務局員
35	菊 池 和 裕	奥州市教育委員会学校教育課長補佐	事務局員
36	岩 淵 浩	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長補佐	事務局員
37	佐 藤 千佳子	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課生涯学習係長	事務局員
38	亀 井 麗	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課生涯学習係主事	事務局員

奥州市学校支援地域本部事業成果報告書

発行 令和 7 年 3 月

編集 奥州市学校支援地域本部実行委員会

(奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課)
